

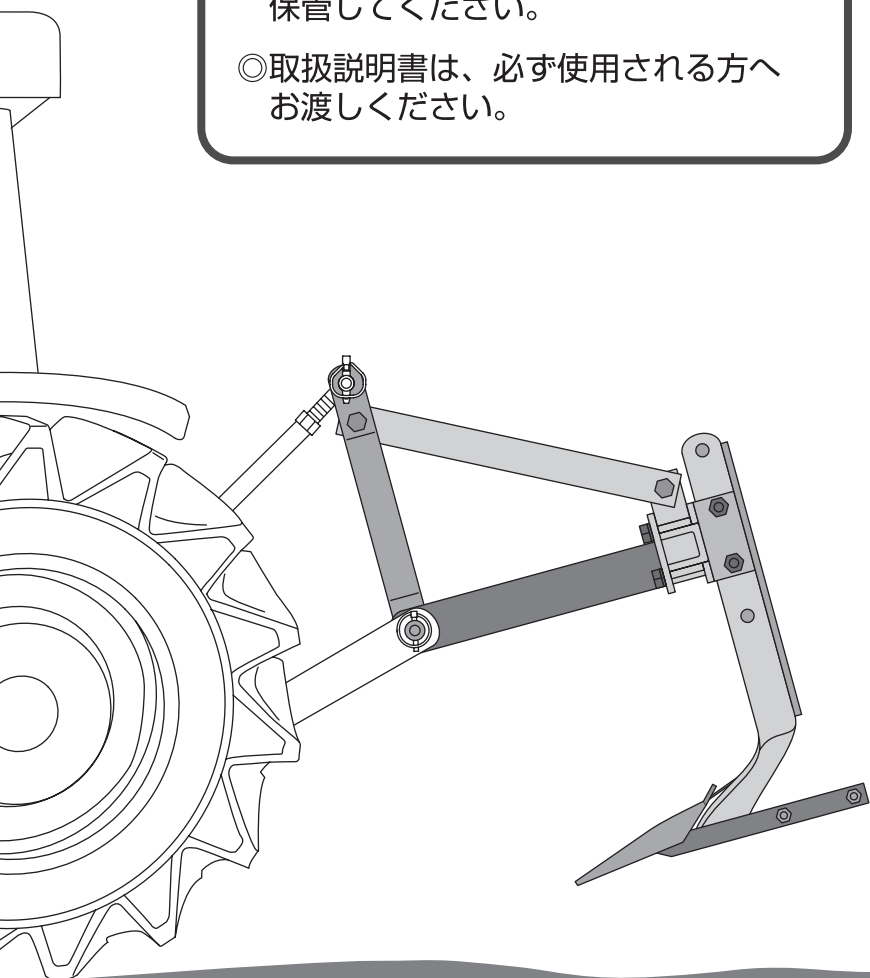
ニプロ

掘取機

SP シリーズ

◎ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みになり、使用後は大切に保管してください。

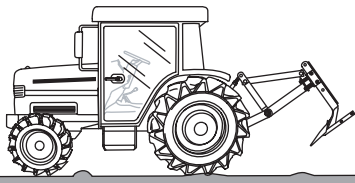
◎取扱説明書は、必ず使用される方へお渡しください。



Niplo

取扱説明書

- 1 安全について
- 2 概要と各部の名称
- 3 解梱と組立て
- 4 取付ける前に
- 5 取付けについて
- 6 調整について
- 7 移動・ほ場への出入りと作業
- 8 取外しについて
- 9 保守・点検
- 10 格納について
- 11 保証とサービスについて
- 12 部品表
- 13 用語と解説



はじめに

このたびは、ニプロ掘取機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の取扱方法や操作手順、使用上の注意事項等を説明したものです。ご使用前に必ずよく読み十分理解されてから、正しくお取扱ください。

使用目的・用途について

- 本掘取機（以下作業機と記す）は、トラクタに取付け、イモ類・根菜類の掘取作業に使用してください。使用目的以外の作業には、決して使用しないでください。使用目的以外の作業で故障した場合は、保証の対象になりません。
- 傷害の発生を避けるため、使用目的以外の使用やこの取扱説明書に述べている以外の運転・保守作業はおやめください。

国外への持ち出し（輸出）について

- 本作業機は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。本作業機を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故等による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

安全対策について

- 当社は、本作業機に関する危険をすべて予測することができません。また、取扱説明書や警告ラベルでその危険をすべて伝えることができません。したがって、作業機の運転、保守作業については、一般的に求められる安全対策の配慮が必要です。
- 日本語を母国語としない人が本作業機を取扱う場合は、お客様において取扱者に対して取扱指導および安全指導を実施してください。
更に、取扱者の母国語で、警告ラベル記載文言に相当する文言を貼付・記載してください。
- この取扱説明書には安全に作業をしていただくために、安全上のポイント「1.3 安全に作業をするために」（2～9 ページ）を記載しています。ご使用前に必ず読み、理解してください。

廃棄処理に関する注意事項

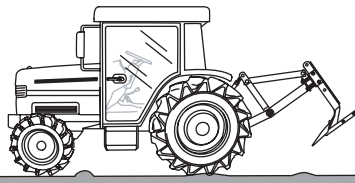
- 本作業機や消耗部品の廃棄については、各地方の条例に従ってください。

本書の取扱いおよびお問い合わせ

- この取扱説明書は、当社の著作物です。無断でこの取扱説明書のすべて、もしくは部分的に関わらず、当社の同意なしに複写・複製をすることを禁じます。
- 品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。そのような場合には、本書の内容およびイラスト等の一部が本作業機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- お読みになった後は、必ず作業機の近くに保管し、必要になった時に読めるようにしてください。
- 作業機を他人に貸したり、譲り渡される場合は、この取扱説明書を作業機に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失、または損傷した場合は、速やかにお買い上げいただきました購入先へご注文ください。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げいただきました購入先へご相談ください。

型式と区分について

- この取扱説明書では、型式・区分の異なる作業機を併記しています。
お買い上げいただいた作業機の型式・区分を、作業機に貼付してあるネームプレートで確認し（「11.2.2 ネームプレートの位置」（35 ページ）を参照）、該当箇所をお読みください。



目次

はじめに	i
目次	1

1 安全について

1.1 警告文の定義	2
1.2 その他の注意補足等	2
1.3 安全に作業をするために	2
1.3.1 一般的な注意事項	2
1.3.2 解梱の注意事項	4
1.3.3 取付け・取外しの注意事項	5
1.3.4 移動・作業時の注意事項	5
1.3.5 保守・点検・調整時の注意事項	8
1.3.6 格納時の注意事項	9
1.4 警告ラベルの種類と位置	10

2 概要と各部の名称

2.1 概要	11
2.2 トラクタとの関係	11
2.3 主要諸元	11
2.4 各部の名称	12

3 解梱と組立て

3.1 梱包品の確認	13
3.2 組立て	13
3.2.1 SP-651	13
3.2.2 SP-1000	14
3.2.3 SP-1400	15

4 取付ける前に

4.1 トラクタの準備	16
4.1.1 2点リンク直装	16
4.1.2 標準3点リンク直装	16

5 取付けについて

5.1 取付けに関する注意	17
5.2 トラクタへの取付け	17
5.2.1 2点リンク直装 (SP-651/SP-1000)	17
5.2.2 標準3点リンク直装 (SP-651/SP-1000)	19
5.2.3 標準3点リンク直装 (SP-1400)	20

6 調整について

6.1 水平調整	22
----------	----

6.1.1 自動水平装置付トラクタ	22
6.1.2 自動水平装置のないトラクタ	22
6.2 最上げ位置の調節	22
6.3 地上高が不足する場合	23
6.3.1 2点リンク直装	23
6.3.2 標準3点リンク直装	23

7 移動・ほ場への出入りと作業

7.1 移動のしかた	24
7.2 作業のしかた	25
7.3 上手な作業のしかた	25
7.3.1 作業幅の調整 (SP-1000/SP-1400)	25
7.3.2 耕深調整	27

8 取外しについて

8.1 トラクタからの取外し	28
8.1.1 2点リンク直装 (SP-651/SP-1000)	28
8.1.2 標準3点リンク直装 (SP-651/SP-1000)	29
8.1.3 標準3点リンク直装 (SP-1400)	30

9 保守・点検

9.1 ボルト・ナットのゆるみ点検	32
9.2 消耗部品の交換	32
9.2.1 SP-651	32
9.2.2 SP-1000	33
9.2.3 SP-1400	33

10 格納について

.....	34
-------	----

11 保証とサービスについて

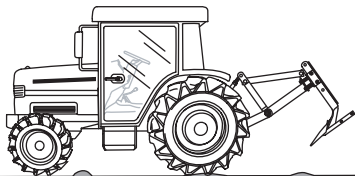
11.1 保証について	35
11.2 アフターサービスについて	35
11.2.1 修理を依頼されるとき	35
11.2.2 ネームプレートの位置	35
11.3 補修部品と供給年限について	35

12 部品表

.....	36
-------	----

13 用語と解説

.....	41
-------	----



1 安全について

1.1 警告文の定義

この取扱説明書で使用している表示を以下に示します。

危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。

表示の内容をよく理解してから本文を読み、記載事項を守ってください。

◆表示の説明

危険	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高い状態を示します。
警告	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことがあり得る状態を示します。
注意	その警告文に従わなかった場合、軽傷または中程度の傷害を負うかもしれない状態を示します。

1.2 その他の注意補足等

◆注意補足の説明

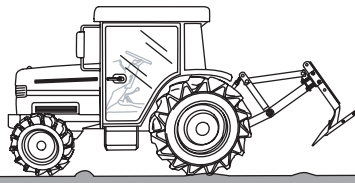
重要	その警告文に従わなかった場合、作業機やトラクタの破損、故障のおそれがあるものを示します。
環境	環境保護のために知っておいていただきたいことや、守っていただきたいことを記載しています。
注記	知っておくと役に立つ情報や、便利なこと等を示します。

1.3 安全に作業をするために

ここに記載している警告文を守らないと、死亡・傷害事故や、作業機やトラクタの破損をまねくおそれがあります。よく読んで、作業を行う場合は十分注意してください。

1.3.1 一般的な注意事項

警告	
こんなときは運転しない	
<ul style="list-style-type: none"> ● 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により作業に集中できないとき ● 酒を飲んだとき ● 妊娠しているとき ● 年少者や運転の未熟な人 	
【守らないと】傷害事故をまねくおそれがあります。	



⚠ 警告

作業に適した服装をする

ヘルメット・すべり止めのついた靴を着用し、だぶつきのない服装をしてください。
はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。

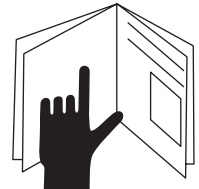
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



本作業機を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、必ず使用前に取扱説明書を読むように指導してください。

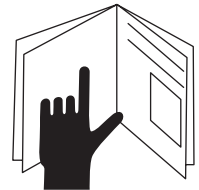
【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



本作業機を他人に譲り渡すときは取扱説明書を付ける

本作業機と一緒に取扱説明書を渡し、必ず読むように指導してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

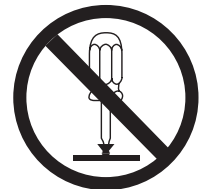


作業機の改造禁止

改造をしないでください。保証の対象になりません。

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

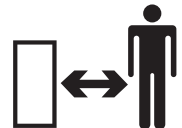
【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



トラクタと作業機の周りに人（特に子供）を近づけない

トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

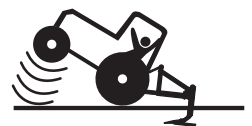


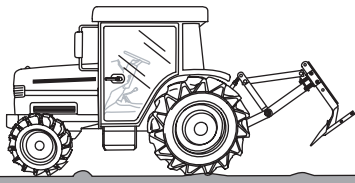
重量バランスの調整をする

トラクタに重い作業機やアタッチメントを装着するときは、前輪分担荷重が全重の20%以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。

（適正な前輪分担荷重は、トラクタや作業機により異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪分担荷重となるようにしてください。）

【守らないと】傷害事故や作業機やトラクタの破損をまねくおそれがあります。





⚠ 注意

公道の走行は作業機取付け禁止

トラクタで公道を走行するときは、必ず作業機を取外してください。

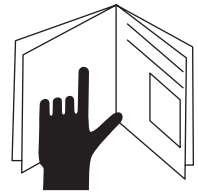
【守らないと】道路運送車両法違反となるだけでなく、事故を引き起こすおそれがあります。



トラクタの取扱説明書をよく読む

必ずトラクタの取扱説明書をよく読み、理解してください。

【守らないと】傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

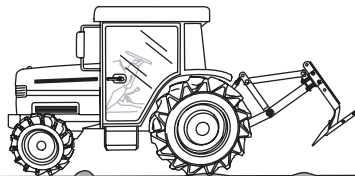


1.3.2 解梱の注意事項

⚠ 注意

梱包を解体するときは、厚手の手袋を着用し、手を保護する

【守らないと】傷害事故につながるおそれがあります。



1.3.3 取付け・取外しの注意事項

⚠ 警告

作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



作業機を取付け・取外しは、平らな場所で行う

平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。

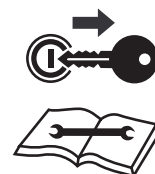
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



作業機を取付け・取外しは、エンジンを停止して行う

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

必ずリンチピンで抜け止めをする

【守らないと】傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

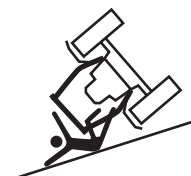


1.3.4 移動・作業時の注意事項

⚠ 警告

急発進、急加速、高速走行、急制動、急旋回はしない

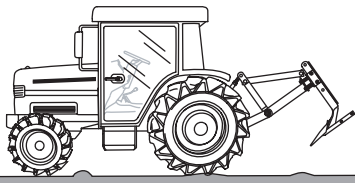
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



運転者以外の人や物をトラクタや作業機に乗せて運ばない

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。





⚠ 警告

作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。

【守らないと】何かの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。



周囲の人や物に注意して走行する

トラクタに作業機が付いていると、後ろが長く、横幅が広がります。周囲の人や物に注意して走行してください。

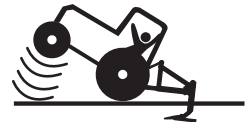
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



アユミ板は、強度・長さ・幅の十分あるものを使用する

積込み、積降しをするときは、平らで交通の邪魔にならない場所でトラックのエンジンを止めます。動かさないようにサイドブレーキをかけ、車止めをしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めの付いているものを選んでください。長さの目安は荷台高さの4倍です。

【守らないと】事故・ケガ・作業機やトラクタの故障をまねくおそれがあります。



あぜ越えや段差を乗り越えるときは、アユミ板を使用する

あぜ越えや段差を乗り越えるときは、アユミ板を使用して、地面に接しない程度に作業機を下げ、重心を低くしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めのある物を選んでください。長さの目安はあぜや段差の4倍です。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



重量バランスの調整をする

急な登り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなります。前輪分担荷重が全重の20%以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。（適正な前輪分担荷重は、トラクタや作業機により異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪分担荷重となるようにしてください。）

【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

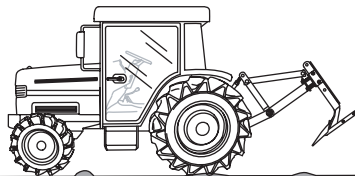


両側に溝や傾斜のある農道を通るときは、特に路肩に注意する

軟弱な路肩、草の茂ったところは通らないでください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。





⚠ 警告

ほ場への出入りは、必ずあぜと直角に行く

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



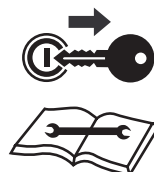
作業機は、絶対に素手で触れたり、足で踏まない

【守らないと】死亡事故や傷害事故、または作業機の損傷につながるおそれがあります。

作業機やトラクタに巻き付いた草などを取る時はエンジンを停止する

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

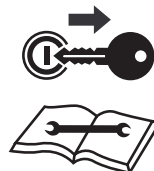
【守らないと】作業機やトラクタに巻き込まれて、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。



作業機の調整はエンジンを停止して行う

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

異常が発生したら、すぐにエンジンを停止し、点検を行う

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】他の部分へ損傷がひろがり、事故につながるおそれがあります。

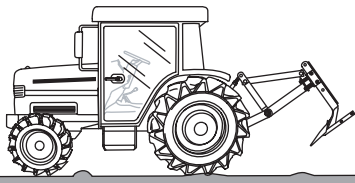


あぜ際での作業は、低速で余裕をもって運転する

あぜに作業機をぶつけないように、低速で余裕をもって運転してください。

【守らないと】傷害事故や作業機の損傷につながるおそれがあります。





⚠ 注意

草やゴミを路上に落とさない

作業中や作業後に、草やゴミを路上に落とさないでください。

【守らないと】道路交通法違反になるだけでなく、事故を引き起こすおそれがあります。

取付具の外側をバー・横杆より広くして使用しない

【守らないと】支柱・リ柱が取付具ごと落下し、傷害事故につながるおそれがあります。

1.3.5 保守・点検・調整時の注意事項

⚠ 警告

保守・点検・調整は平らで安定した場所で行う

- ・交通の邪魔にならない場所で行ってください。
- ・作業機が動いたり、倒れたりしない平らで固い場所で行ってください。
- ・トラクタの車輪には車止めをしてください。

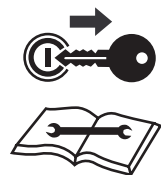
【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



保守・点検・調整はエンジンを停止して行う

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。



トラクタの油圧ストップバルブを完全に閉めてロックする

作業機が下がるのを防止するため、トラクタの油圧ストップバルブを完全に閉めてロックし、さらに作業機の下へ台を入れてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

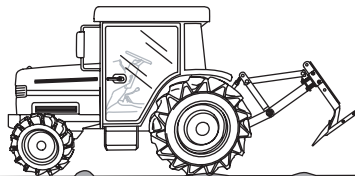


異常を見つけたら、速やかに修理する

変形、損傷等の異常を見つけたら、速やかに修理をしてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。





⚠ 警告

地面と先金・モグラ爪先端との間隔を調整する

あぜ越えや移動時に、先金・モグラ爪が地面と接触しないように、地面と先金・モグラ爪先端との間隔が、平坦な場所で 30 cm 以上になるように調整してください。

【守らないと】転倒等により、傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



⚠ 注意

目的に合った工具を正しく使用する

点検・整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合ったものを正しく使用してください。

【守らないと】整備不良で事故を引き起こすおそれがあります。



保守・点検・調整時は、厚手の手袋を着用し、手を保護する

【守らないと】傷害事故につながるおそれがあります。

1.3.6 格納時の注意事項

⚠ 注意

平らで固い場所に格納する

雨や風があたらず、平らで固い場所を選んでください。

【守らないと】作業機の転倒等により、傷害事故や作業機の破損につながります。

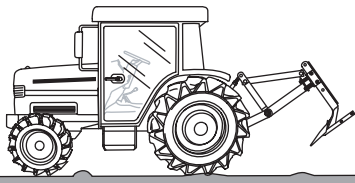


作業機単体の転倒防止をする

作業姿勢での格納は、バランスが悪く転倒のおそれがあります。必ず作業機を倒した状態で保管してください。

【守らないと】作業機の転倒等により、傷害事故や作業機の破損につながります。

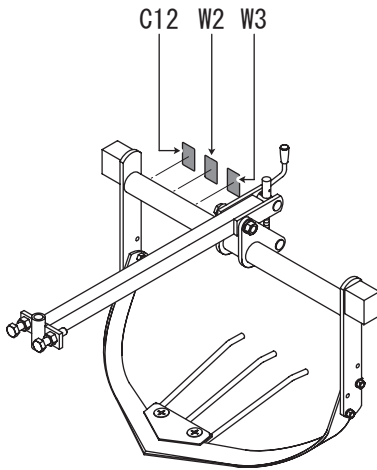




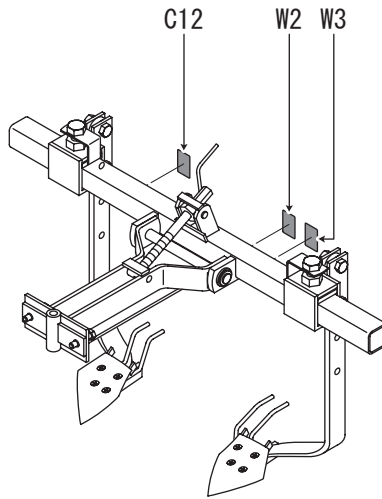
1.4 警告ラベルの種類と位置

- 警告ラベルは図の位置に貼ってあります。よくお読みになり安全に作業をしてください。
- 警告ラベルは、汚れや土を落とし、常に見えるようにしてください。
- 警告ラベルを紛失または破損された場合には、お買い上げいただいた購入先へ、型式および部品番号で注文してください。

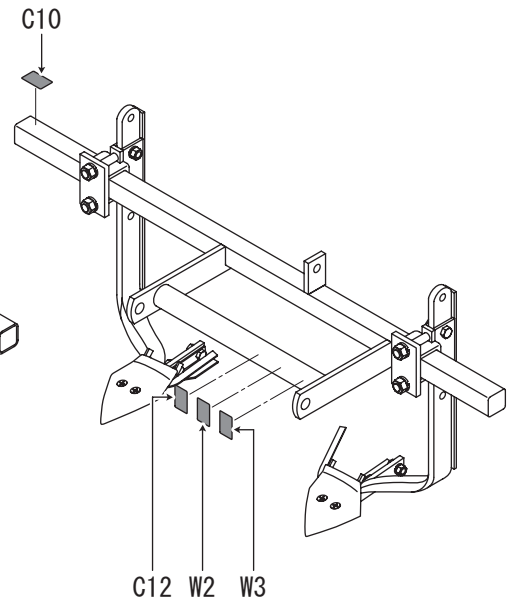
SP-651



SP-1000



SP-1400



W2 8750-317000



W3 8750-326000

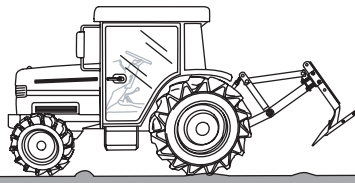


C10



C12 8750-341000



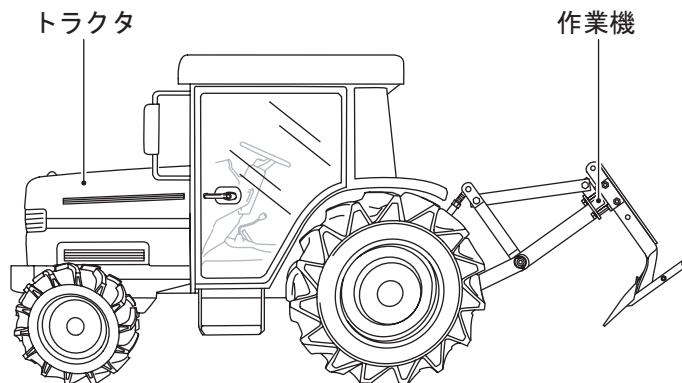


2 概要と各部の名称

2.1 概要

- 本作業機は、イモ類・根菜類の掘取作業に使用してください。
- 本作業機は、「標準3点リンク」「2点リンク」で設計しています。他の規格では取付けができません。
- 本作業機は、決められた適応馬力で設計しています。適応トラクタ馬力の範囲内で使用してください。

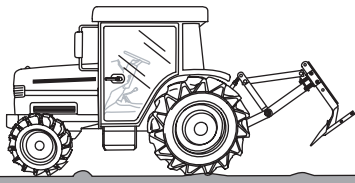
2.2 トラクタとの関係



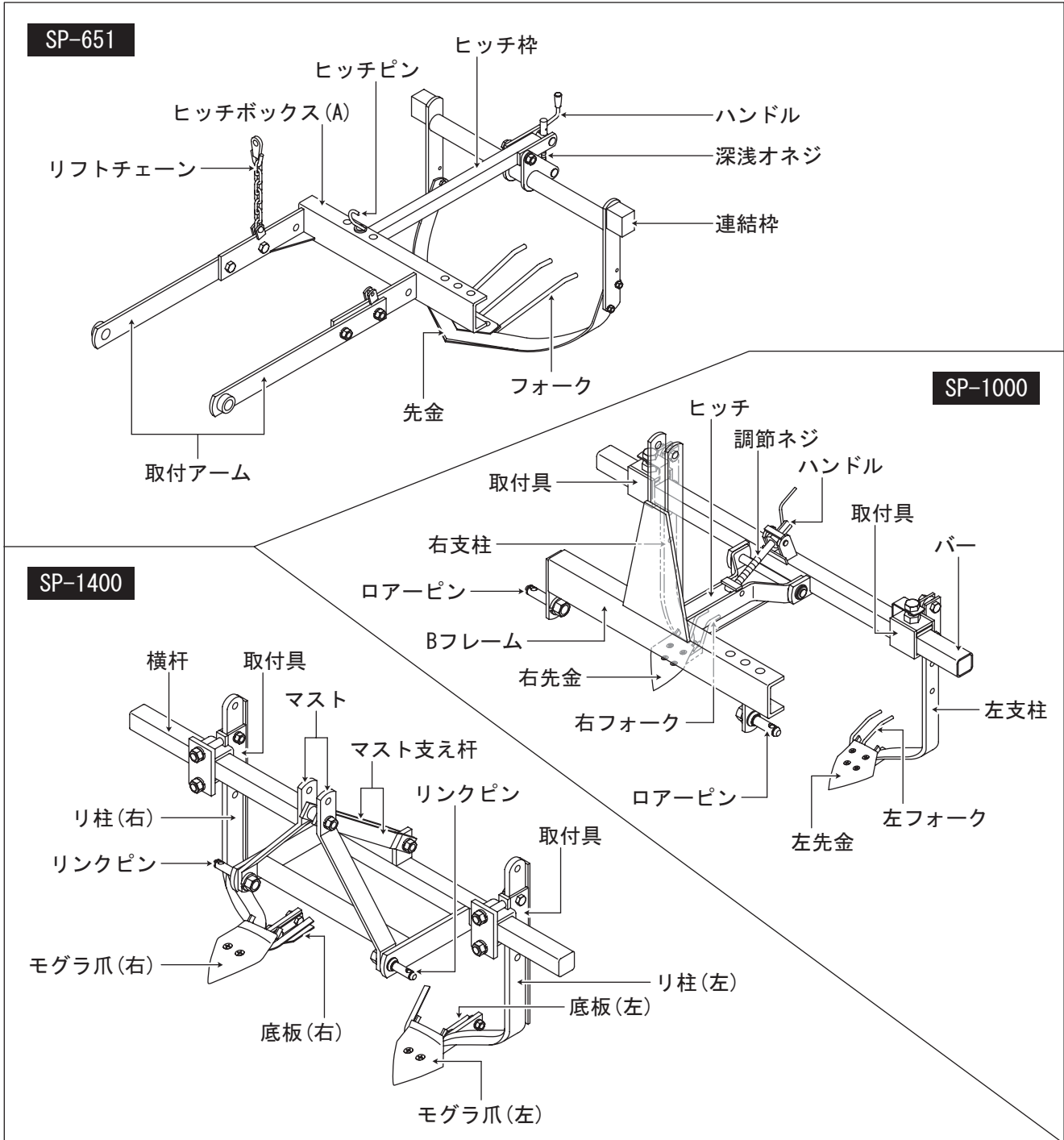
2.3 主要諸元

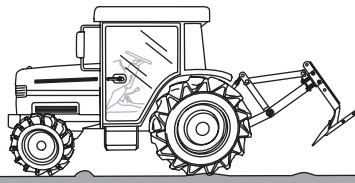
型式・区分		SP-651	SP-1000	SP-1400
機 体 寸 法	全長(mm)	759	543	490
	全幅(mm)	800	1100	1400
	全高(mm)	682	697	910
機体質量(kg)		23	38	61
適応トラクタ馬力[kW(PS)]		8.8 (12) ~11.0 (15)		11.0 (15) ~18.4 (25)
装着方法		2点リンク直装または標準3点リンク直装		標準3点リンク直装
作業能率(分/10a)		44~88	29~107	28~81
作業幅(mm)		650	535~1000	710~1025
耕深(mm)		標準 270	標準 300	
作業速度(km/h)		1.5~3.0		

※ 本主要諸元は、改良のため予告なく変更することがあります。



2.4 各部の名称





3 解梱と組立て

3.1 梱包品の確認

1 組ごとに厳重な検査をしたうえで出荷していますが、輸送中の破損、物品の欠品、およびその他の異常の可能性も皆無ではありません。下表の事項も含めて確認してください。

もし、問題があった場合は、お買い上げの購入先へ連絡してください。

確認箇所	確認方法
ご注文の品物かどうか	「11.2.2 ネームプレートの位置」(35 ページ)を参照し、ネームプレートで確認
ネームプレート、警告ラベルが剥がれていないか	「1.4 警告ラベルの種類と位置」(10 ページ)、 「11.2.2 ネームプレートの位置」(35 ページ)を参照し、目視によるチェック
破損はないか	目視による外観チェック
取扱説明書、保証書	目視によるチェック

3.2 組立て

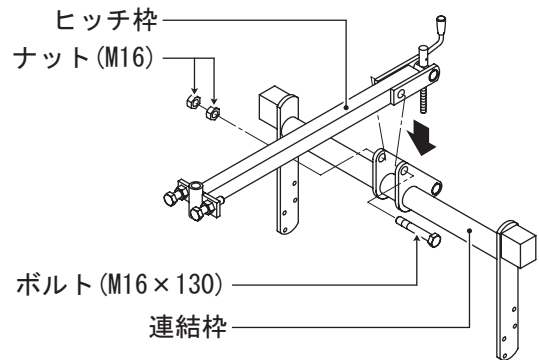
⚠ 注意

厚手の手袋を着用し、手を保護してください。

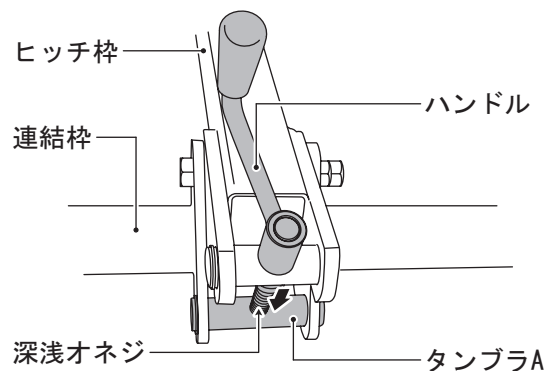
【守らないと】傷害事故につながるおそれがあります。

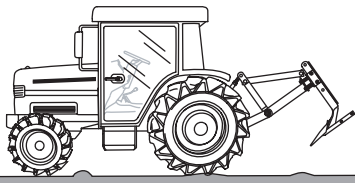
3.2.1 SP-651

1 ヒッチ枠を連結枠に取付けます。



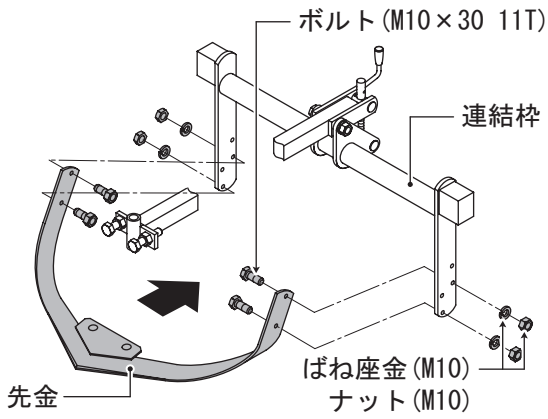
2 ヒッチ枠のハンドルを回し、深浅オネジを連結枠のタンブラ A に取付けます。





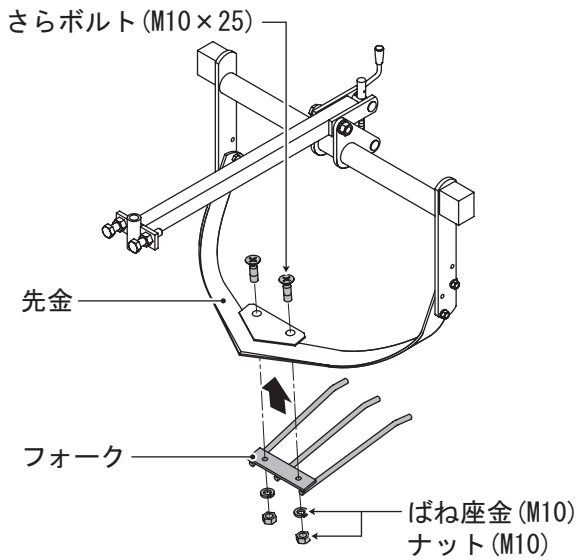
3

先金を連結枠に取付けます。



4

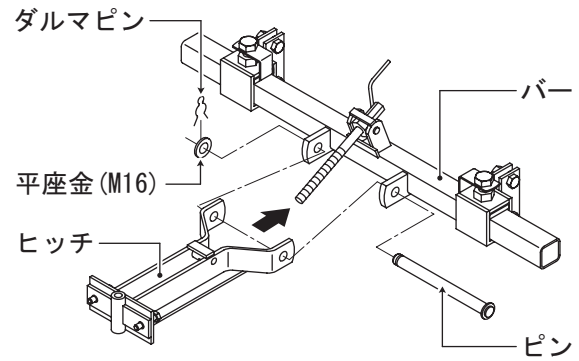
フォークを先金に取付けます。



3.2.2 SP-1000

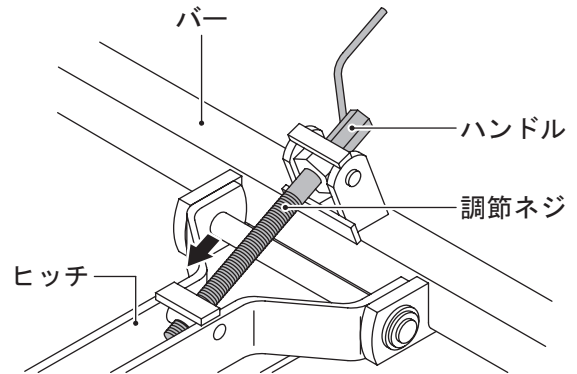
1

ヒッチをバーに取付けます。



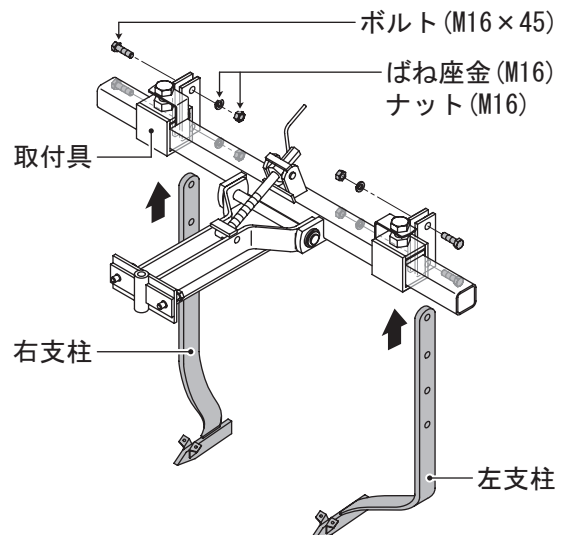
2

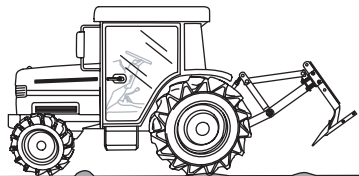
バーのハンドルを回し、調節ネジをヒッチに取付けます。



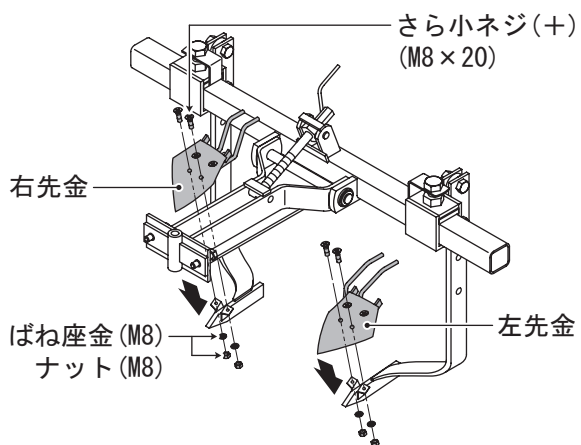
3

支柱をバーの取付具に取付けます。



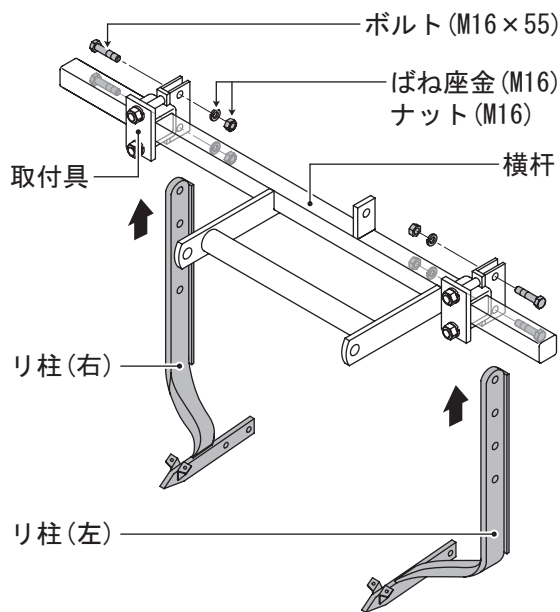


4 先金を支柱に取付けます。

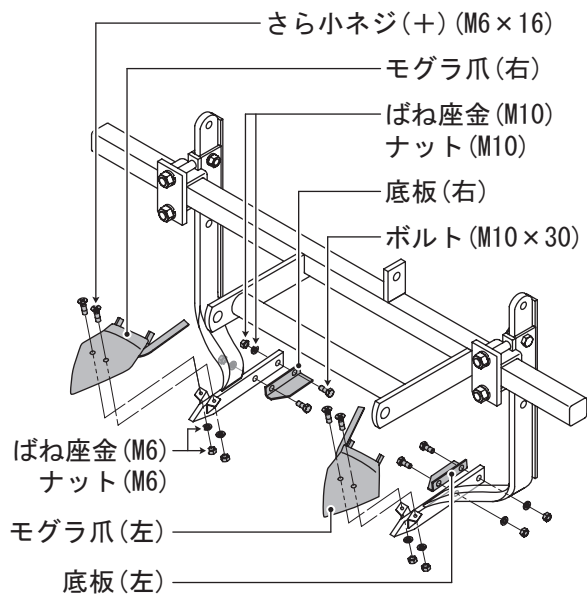


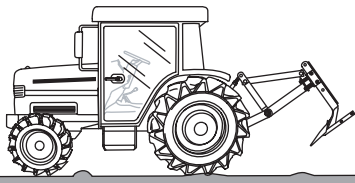
3.2.3 SP-1400

1 リ柱を横杆の取付具に取付けます。



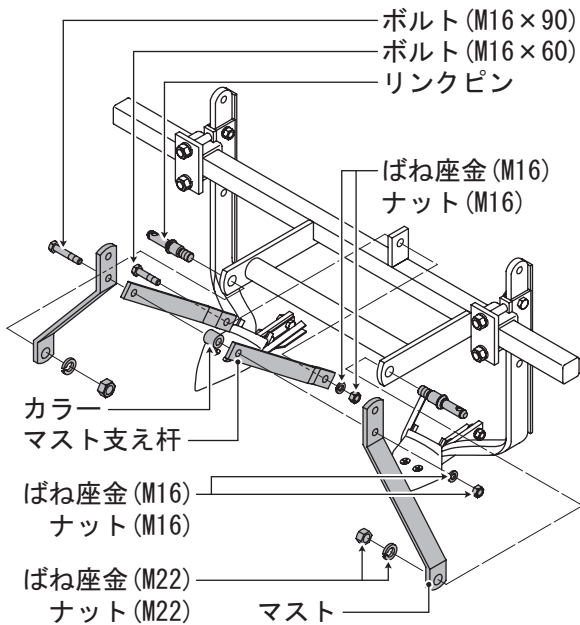
2 モグラ爪と底板をリ柱に取付けます。





3

マストを横杆に取り付けます。



4 取付ける前に

4.1 トラクタの準備

⚠ 注意

トラクタの取扱説明書をよく読んでください。

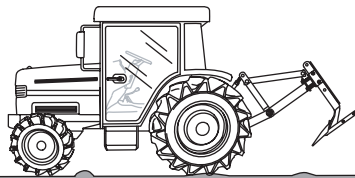
【守らないと】取付けができなかったり、傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

4.1.1 2点リンク直装

- (a) 付属の 2P 取付金具が、トラクタの型式に適合しているか確認してください。適合していない場合は、お買い上げの購入先へ連絡してください。
- (b) 2P 取付金具を、組立要領書を参照して、トラクタに取り付けてください。

4.1.2 標準 3点リンク直装

- (a) 作業機の装着は「標準 3点リンク規格」です。トラクタの 3点リンクも標準 3点リンクでないと装着できません。
- (b) トラクタが特殊 3点リンク規格の場合は、特殊 3点リンク用トップリンクブラケットを外し、トップリンクを標準 3点リンク用の物に交換してください。両側にねじの付いた物で長、短の調整のできる物を使用してください。リフトロッドの位置は、ローリンクの前穴に取り付けます。
- (c) 作業機の上がり量、下がり量が不足する場合は、リフトロッドの取付穴位置を上下の穴に移して、調整してください。
 - ・上の穴は上がり量が増えます。
 - ・下の穴は下がり量が増えます。



5 取付けについて

5.1 取付けに関する注意

⚠ 警告

- 作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。
- 平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
- 作業機を取付けるときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

トラクタに重い作業機やアタッチメントを装着するときは、前輪分担荷重が全重の 20% 以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。

(適正な前輪分担荷重は、トラクタや作業機により異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪分担荷重となるようにしてください。)

【守らないと】傷害事故や作業機やトラクタの破損をまねくおそれがあります。

⚠ 注意

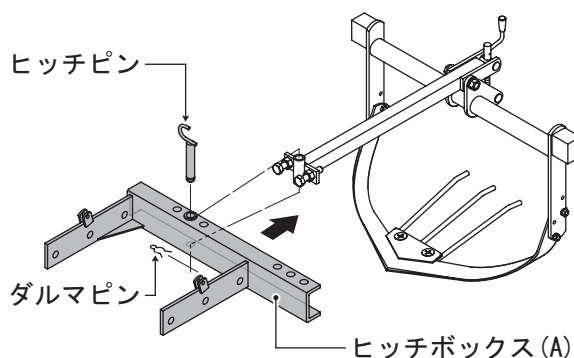
トラクタの取扱説明書をよく読んでください。

【守らないと】取付けができなかったり、傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

5.2 トラクタへの取付け

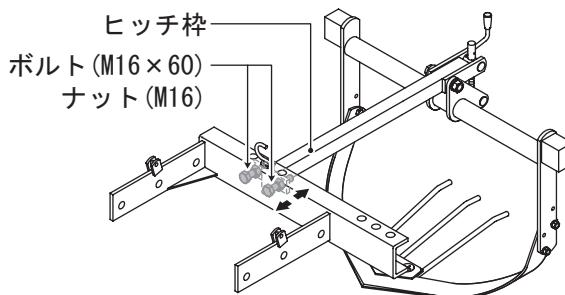
5.2.1 2点リンク直装 (SP-651/SP-1000)

1 ヒッチボックス(A)を作業機に取付けます。

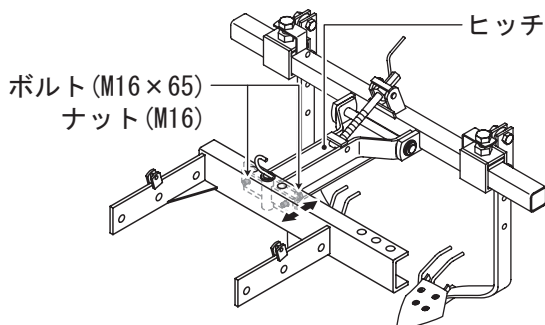


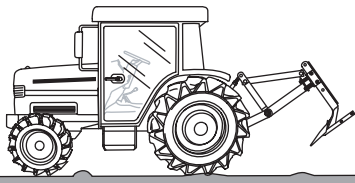
2 ヒッチ枠・ヒッチの振れ止め用のボルトを、ヒッチボックス(A)と作業機が真っ直ぐに、遊びがないように、左右均等に調整します。

■SP-651



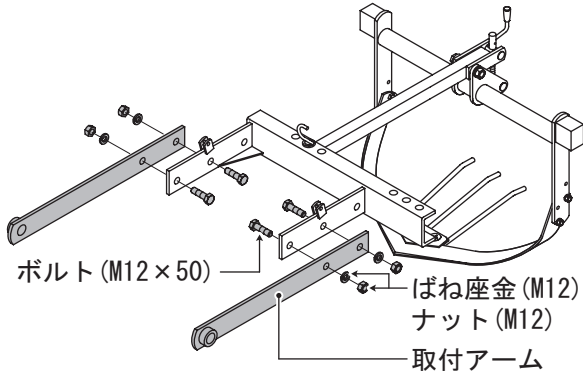
■SP-1000





3

取付アームをヒッチボックス (A) に取付けます。

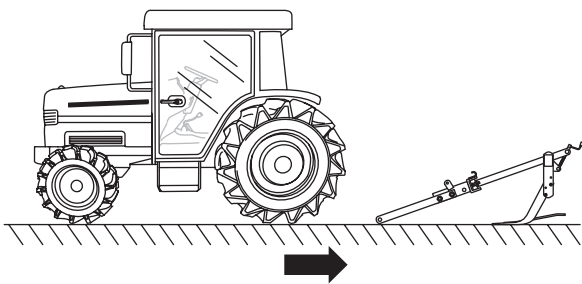


注 記

- ・ 外側に取付けるか、内側に取付けるかは、トラクタの型式により異なります。取付アームがまっすぐになるように取付けてください。
- ・ 前後に2段階、調節ができます。作業機を上げたときに、トラクタにぶつからない位置に調節してください。

4

トラクタを作業機を中心に合わせ、まっすぐ後進させます。

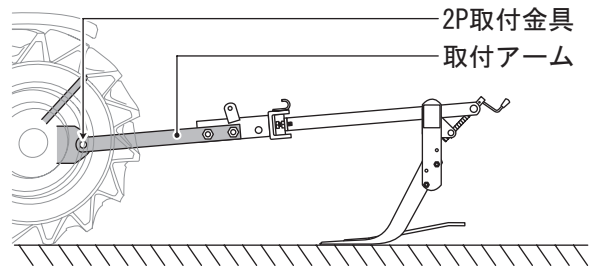


5

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

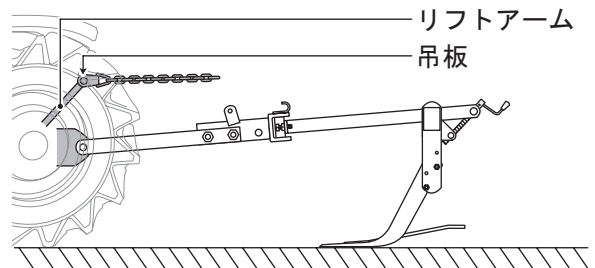
6

取付アームをトラクタの 2P 取付金具に取付けます。



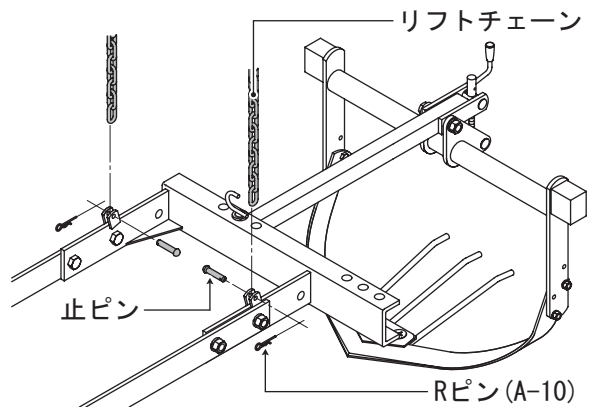
7

リフトチェーンの吊板を、トラクタのリフトアームに取付けます。



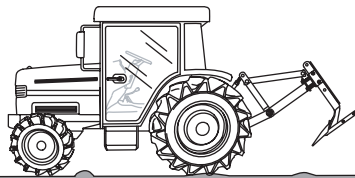
8

リフトチェーンの長さを調節し、作業機のヒッチボックス (A) に止ピンで取付けます。



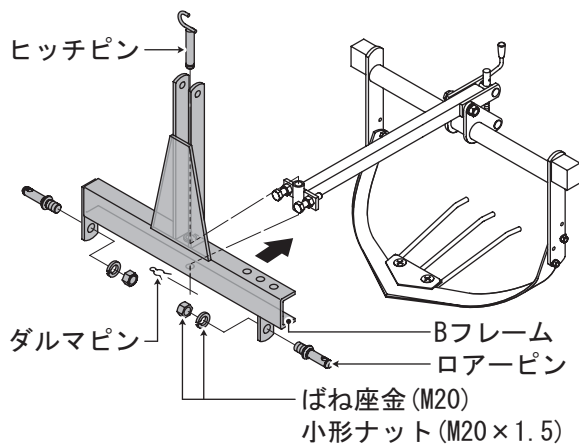
注 記

- ・ リフトチェーンの長さは、作業状態でややたるみ、作業機を上げたときにあぜ越えができる高さになるように調節してください。



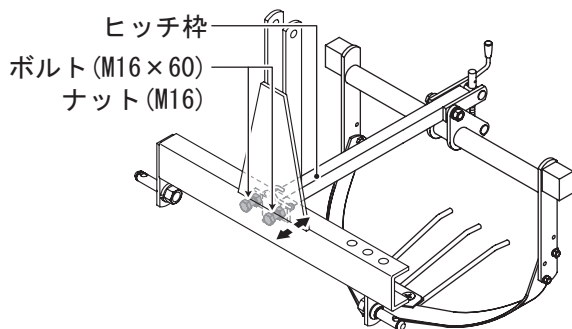
5.2.2 標準 3 点リンク直装 (SP-651/SP-1000)

1 B フレームを作業機に取付けます。

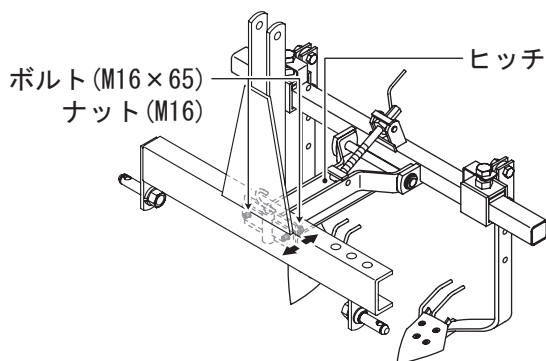


2 ヒッチ枠・ヒッチの振れ止め用のボルトを、B フレームと作業機が真っ直ぐに、遊びがないように、左右均等に調整します。

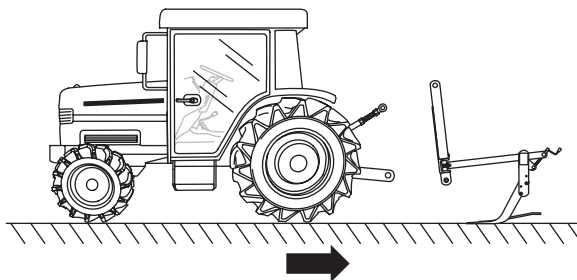
■ SP-651



■ SP-1000



3 トラクタを作業機の中心に合わせ、まっすぐ後進させます。



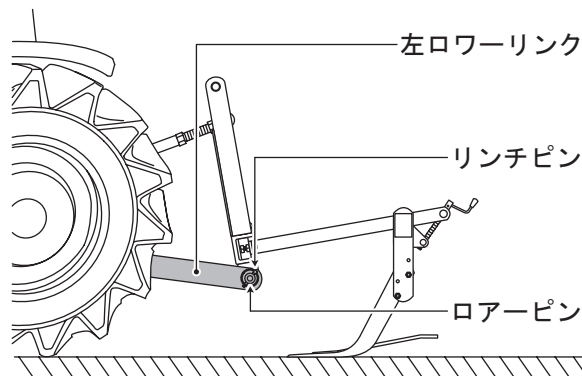
4 トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

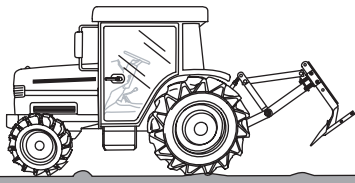
5 トラクタの左ローリンクを作業機の左側のローアピンに取付けます。

⚠ 注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。

【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。





6

トラクタの右ローリンクを作業機の右側のローピンに取付けます。

注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。

【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

注記

- ・ 高さが合わないときは、レベリングハンドルを回し、リフトロッドの長さを調整して取付けてください。

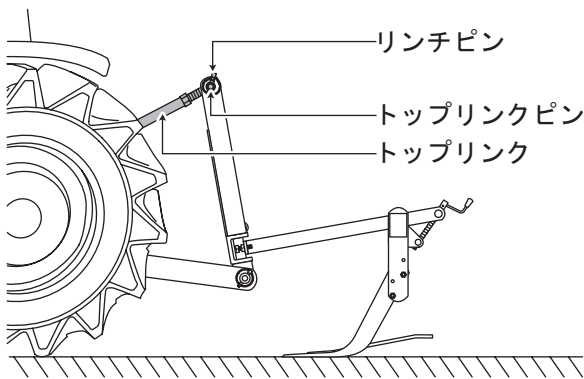
7

トップリンクの長さを調整し、トップリンクピン（トラクタ付属）で作業機のマストに取付け、リンチピンで抜け止めをします。

注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。

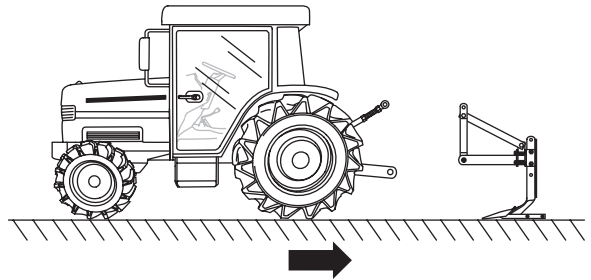
【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



5.2.3 標準3点リンク直装 (SP-1400)

1

トラクタを作業機の中心に合わせ、まっすぐ後進させます。



2

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

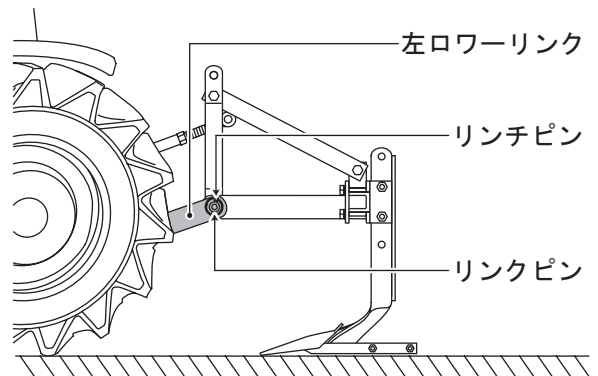
3

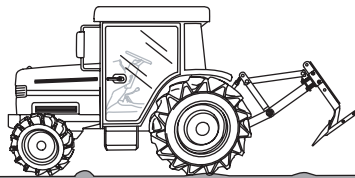
トラクタの左ローリンクを作業機の左側のリンクピンに取付けます。

注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。

【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。





4

トラクタの右ローリンクを作業機の右側のリンクピンに取付けます。

注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。

【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

注記

- ・ 高さが合わないときは、レベリングハンドルを回し、リフトロッドの長さを調整して取付けてください。

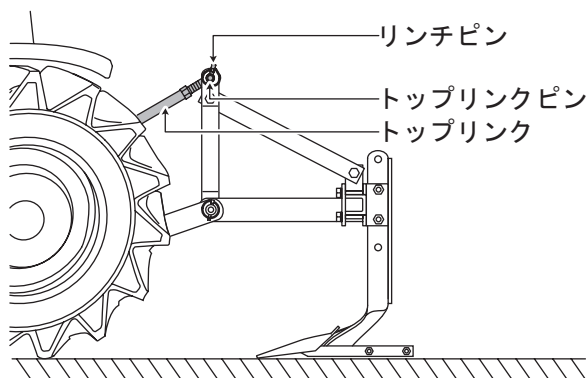
5

トップリンクの長さを調整し、トップリンクピン（トラクタ付属）で作業機のマストに取付け、リンチピンで抜け止めをします。

注意

必ずリンチピンで抜け止めをしてください。

【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。



6 調整について

警告

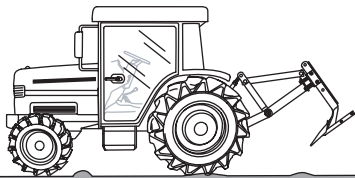
- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- 作業機の下へもぐったり、足を入れたりしないでください。
- トラクタとの調整は、平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
- 作業機を調整するときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】 死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

注意

厚手の手袋を着用し、手を保護してください。

【守らないと】 傷害事故につながるおそれがあります。



6.1 水平調整

注 記

- ・ トラクタの取扱説明書をよく読んでください。
- ・ 作業機の左右がトラクタに対して水平でないと、耕深が片寄るだけでなく、直進性も悪くなります。

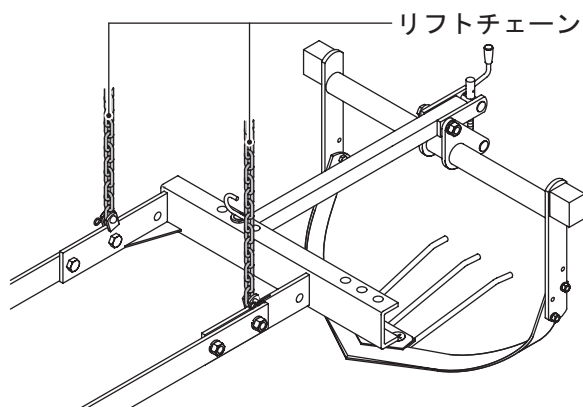
6.1.1 自動水平装置付トラクタ

作業機の左右がトラクタに対して水平になるように調整してください。

6.1.2 自動水平装置のないトラクタ

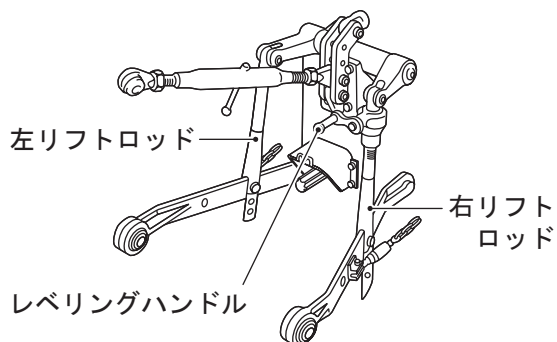
◆2点リンク直装

リフトチェーンの長さを調整してください。



◆標準3点リンク直装

トラクタのレベリングハンドルを回して、右リフトロッドの長さを調整してください。



6.2 最上げ位置の調節

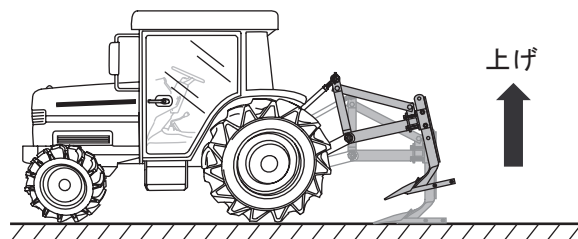
重要

- ・ トラクタによっては、スイッチで最上げまで自動上昇する機種があります。作業機が勢いよく上がるため、トラクタと作業機との間隔を100 mm以上開けるように上げ規制をしてください。
- ・ 特にキャビン付きトラクタの場合は、トラクタ背面のガラスを突き上げないように注意してください。

トラクタや作業機の損傷につながります。

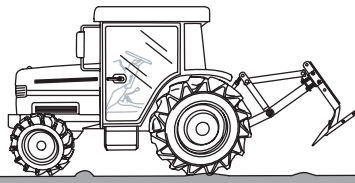
1

ゆっくり作業機を上げ、振動や異音の出ない位置で作業機昇降レバー（油圧レバー）を止めます。



2

作業機昇降レバー（油圧レバー）を、上げ高さ規制ストッパで固定します。



6.3 地上高が不足する場合

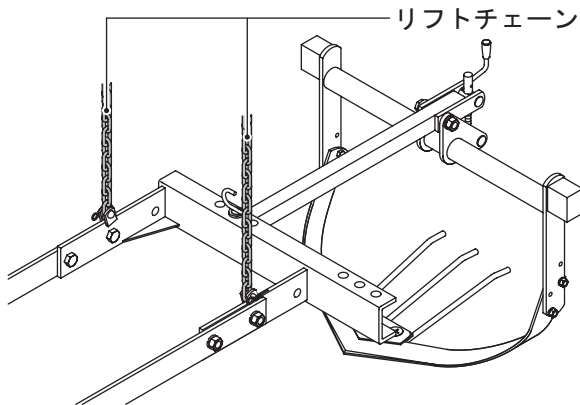
⚠ 警告

あぜ越えや移動時に、先金・モグラ爪が地面と接触しないように、地面と先金・モグラ爪先端との間隔が、平坦な場所で 30 cm 以上になるように調整してください。

【守らないと】転倒等により、傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

6.3.1 2点リンク直装

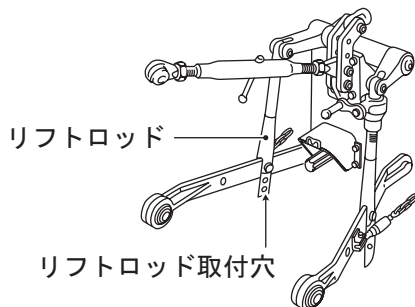
リフトチェーンの長さを調整してください。



6.3.2 標準3点リンク直装

リフトロッドの取付穴位置を上下の穴に移して調整してください。

- ・上の穴位置にすると上がり量が増えます。
- ・下の穴位置にすると下がり量が増えます。



7 移動・ほ場への出入りと作業

⚠ 警告

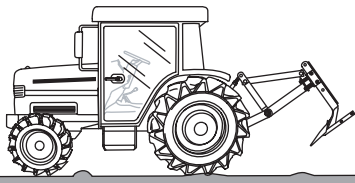
- 急発進、急加速、高速走行、急制動、急旋回はしないでください。
- 運転者以外の人や物をトラクタや作業機に乗せて運ばないでください。
- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- トラクタに作業機が付いていると、後ろが長く、横幅が広がります。周囲の人や物に注意して走行してください。
- あぜ越えや段差を乗り越えるときは、アユミ板を使用して、地面に接しない程度に作業機を下げ、重心を低くしてください。使用するアユミ板は強度・長さ・幅が十分あり、すべり止めのある物を選んでください。長さの目安はあぜや段差の4倍です。
- 急な登り坂で前輪が浮き上がると、ハンドル操作ができなくなります。前輪分担荷重が全重の20%以上になるように、適正な質量のバランスウェイトを装着してください。(適正な前輪分担荷重は、トラクタや作業機により異なります。トラクタの取扱説明書や販売店の指示に従って、お客様所有のトラクタに適した前輪分担荷重となるようにしてください。)
- 両側に溝や傾斜のある農道を通るときは、特に路肩に注意してください。軟弱な路肩、草の茂ったところは通らないでください。
- ほ場への出入りは、必ずあぜと直角に行ってください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

トラクタで公道を走行するときは、必ず作業機を取外してください。

【守らないと】道路運送車両法違反となるだけでなく、事故を引き起こす原因になります。



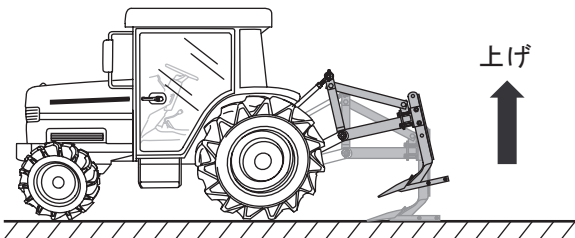
7.1 移動のしかた

⚠ 注意

トラクタの取扱説明書をよく読んでください。

【守らないと】 傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

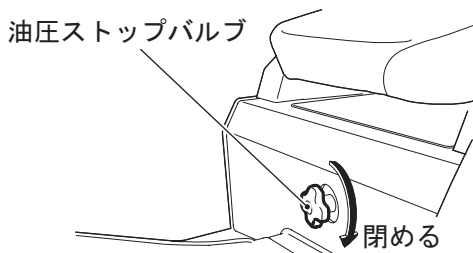
- 1** トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を上げて、作業機を最上げ位置にします。
 （「6.2 最上げ位置の調節」（22 ページ）を参照してください。）



- 2** 油圧ストップバルブを完全に閉めます。

注 記

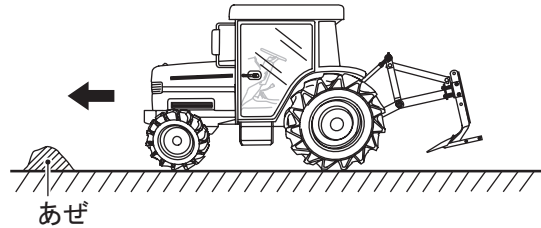
- 作業機が下がらないようにしてください。



- 3** トラクタのエンジンをかけ、トラクタをゆっくりと移動させます。

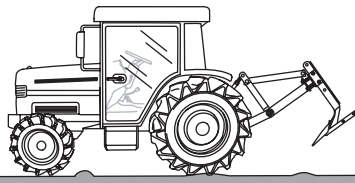
◆ほ場への出入り

ほ場への出入りはあぜと直角に、ゆっくり前進で行います。



注 記

- 勾配がきつい場合は、後進で上り、前進で下りてください。
- 作業機の地上高が不足する場合は、地上高を確保してください。（「6.3 地上高が不足する場合」（23 ページ）を参照してください。）



7.2 作業のしかた

⚠ 警告

- 急発進、急加速、高速走行、急制動、急旋回はしないでください。
- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- 作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。
- 作業機を調整するときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。
- 作業機は、絶対に素手で触れたり、足で踏らないでください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

作業機やトラクタに巻き付いた草などを取除くときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】作業機やトラクタに巻き込まれて、死亡事故や重傷を負うおそれがあります。

⚠ 注意

使用中、異常が発生したら、すぐにエンジンを停止し、点検を行ってください。

【守らないと】傷害事故や他の部分へ損傷がひろがるおそれがあります。

あぜに作業機をぶつけないように、低速で余裕をもって運転してください。

【守らないと】傷害事故や作業機の損傷につながるおそれがあります。

作業中や作業後に、草やゴミを路上に落とさないでください。

【守らないと】道路交通法違反になるだけでなく、事故を引き起こすおそれがあります。

次の方法は、一般的に行われている掘取機を使用した掘取り方法です。ほ場条件に合った方法で使用してください。

- (1) あらかじめトラクタの旋回部分 (5~6 m) を手作業で掘取ります。
- (2) トラクタの作業速度は、1.5~3.0 km/h です。
- (3) 収穫物の位置をよく確かめてから作業に入ります。2~3 m 掘取ったところで作業幅と耕深を確認し、収穫物に当たる場合は調整します。
(「7.3 上手な作業のしかた」(25~27 ページ)を参照してください。)
- (4) 1 行程を終えて旋回する場合は、作業機を持ち上げてから旋回します。

7.3 上手な作業のしかた

7.3.1 作業幅の調整

(SP-1000/SP-1400)

トラクタのけん引能力や、必要な作業幅に合わせて、作業幅を調整することができます。

作業幅を縮めると、けん引抵抗は弱くなります。

◆SP-1000

⚠ 警告

取付具の外側をバーより広くして使用しないでください。

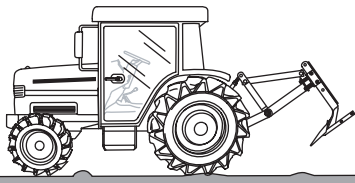
【守らないと】支柱が取付具ごと落下し、傷害事故につながるおそれがあります。

重要

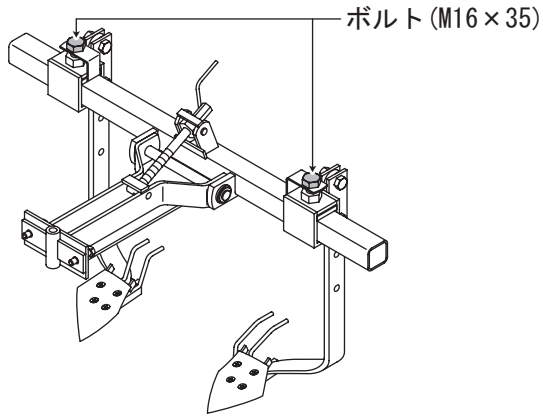
- ・ 取付具は、左右同じ位置に取付けてください。作業が安定せず、消耗部品の摩耗に片寄りが出ます。

注 記

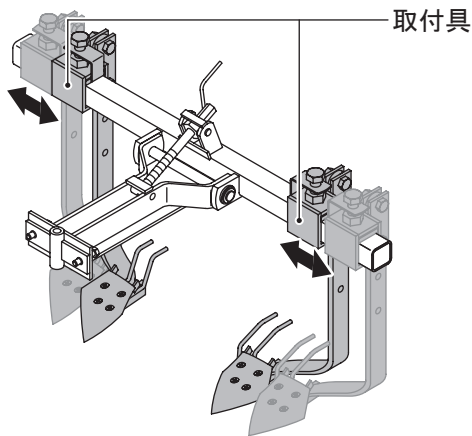
- ・ 先金が、収穫物の横を通過するように調整してください。



1 取付具のボルト (M16×35) をゆるめます。



2 取付具を任意の位置にずらします。



3 1でゆるめたボルト (M16×35) を締付けて、取付具を固定します。

◆SP-1400

警告

取付具の外側を横杆より広くして使用しないでください。

【守らないと】リ柱が取付具ごと落下し、傷害事故につながるおそれがあります。

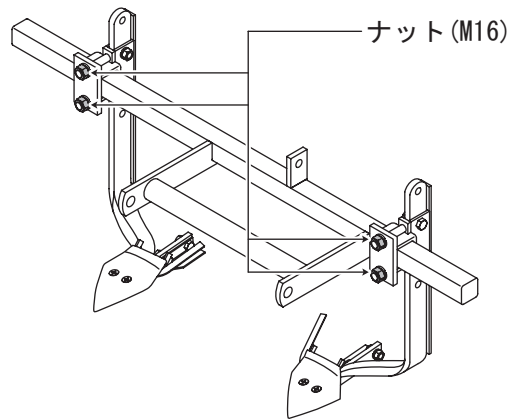
重要

- ・ 取付具は、左右同じ位置に取付けてください。作業が安定せず、消耗部品の摩耗に片寄りが出ます。

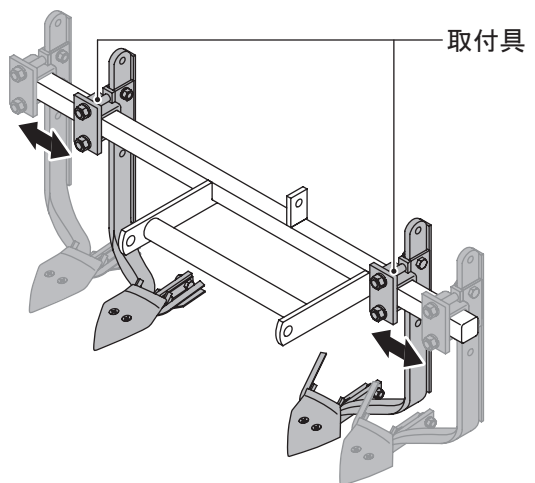
注記

- ・ モグラ爪が、収穫物の横を通過するように調整してください。

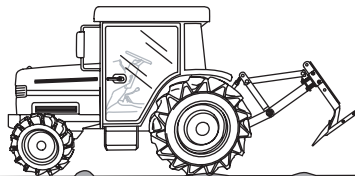
1 取付具のナット (M16) をゆるめます。



2 取付具を任意の位置にずらします。



3 1でゆるめたナット (M16) を締付けて、取付具を固定します。



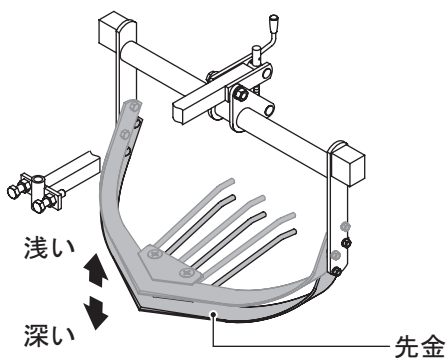
7.3.2 耕深調整

注 記

- ・ トラクタの前輪、後輪がスリップするときは、作業機を少しずつ上げてください。
- ・ 先金・モグラ爪が収穫物よりも浅い場合は、収穫物を傷つけたり、切断することがあります。

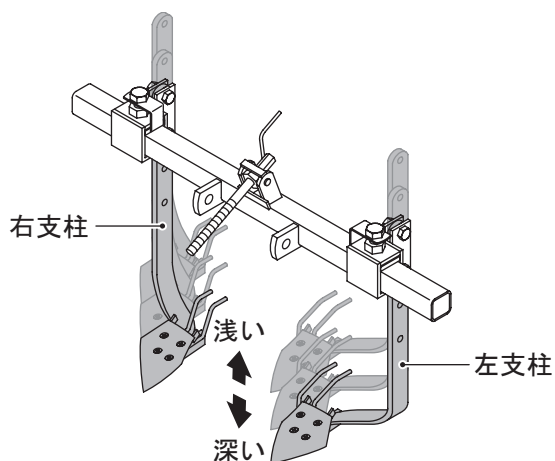
◆SP-651

先金の取付位置を変更して、耕深を調整してください。連結枠の上側の取付穴に取付けると、耕深が浅くなります。



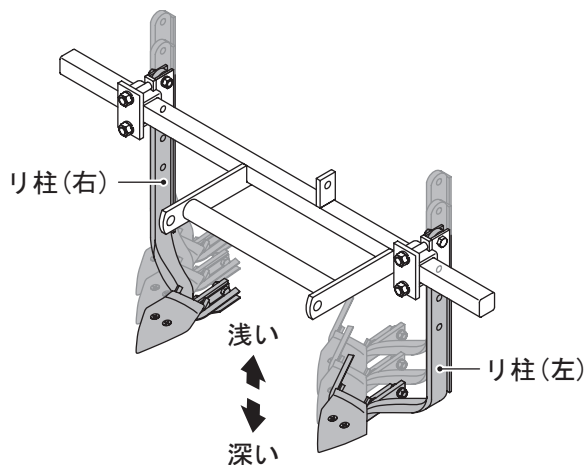
◆SP-1000

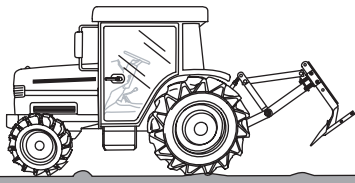
支柱の取付位置を変更して、耕深を調整してください。支柱の下側の取付穴に取付けると、耕深が浅くなります。3段階に調整が可能です。



◆SP-1400

リ柱の取付位置を変更して、耕深を調整してください。リ柱の下側の取付穴に取付けると、耕深が浅くなります。3段階に調整が可能です。





8 取外しについて

⚠ 警告

- トラクタの周りや作業機との間に人が入らないようにしてください。
- 作業機の下にもぐったり、足を入れしないでください。
- 平らで固い場所を選び、いつでも危険をさけられる態勢で行ってください。
- 作業機を取外すときは、トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

トラクタの取扱説明書をよく読んでください。

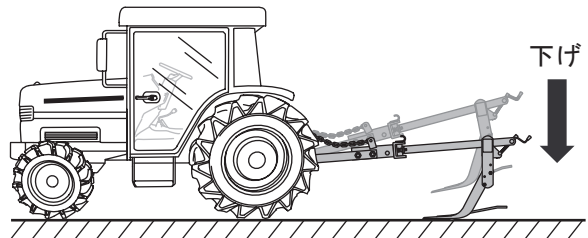
【守らないと】取外しができなかったり、傷害事故、または作業機やトラクタの破損につながるおそれがあります。

8.1 トラクタからの取外し

8.1.1 2点リンク直装 (SP-651/SP-1000)

1

トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を下げて、作業機をゆっくり地面まで下げます。

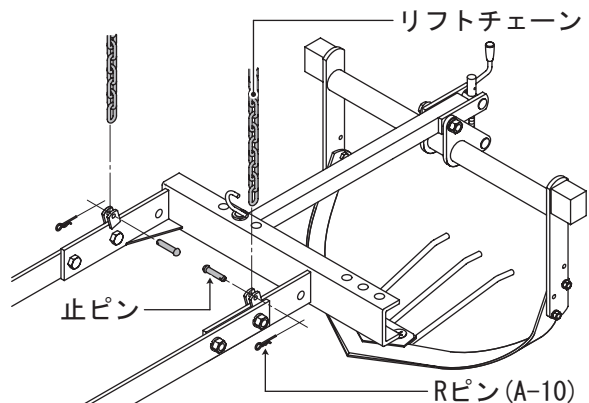


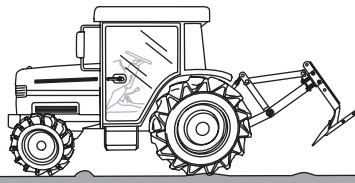
2

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

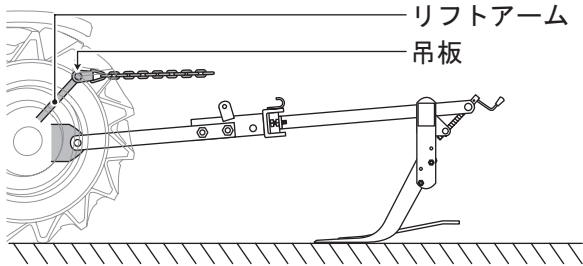
3

リフトチェーンを作業機のヒッチボックス (A) から外します。

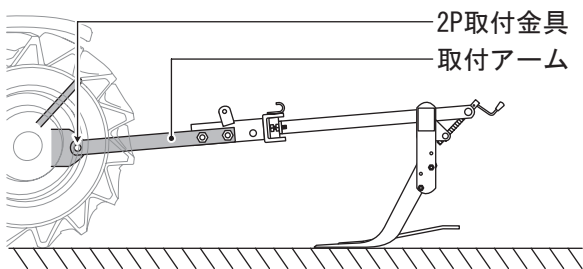




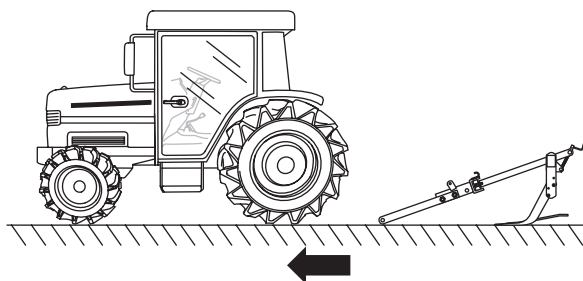
- 4** リフトチェーンの吊板を、トラクタのリフトアームから外します。



- 5** 取付アームをトラクタの 2P 取付金具から外します。

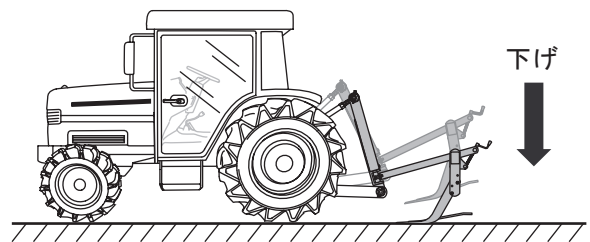


- 6** トラクタのエンジンをかけ、トラクタをゆっくり前進させます。



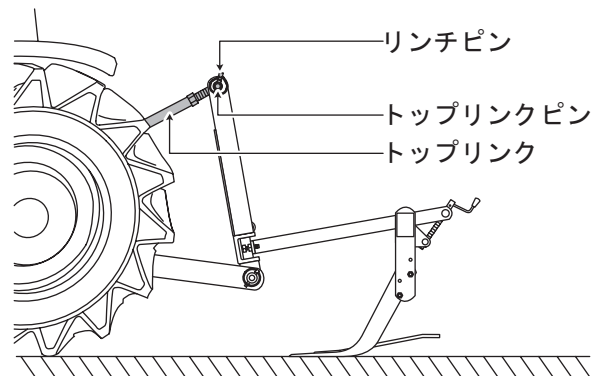
8.1.2 標準 3 点リンク直装 (SP-651/SP-1000)

- 1** トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を下げ、作業機をゆっくり地面まで下げます。



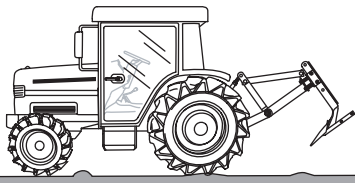
- 2** トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

- 3** リンチピンを抜いてトップリンクピンを取外し、トラクタのトップリンクを作業機から取外します。



注 記

- ・ 外れないときは、トップリンクの長さを調節してください。



4

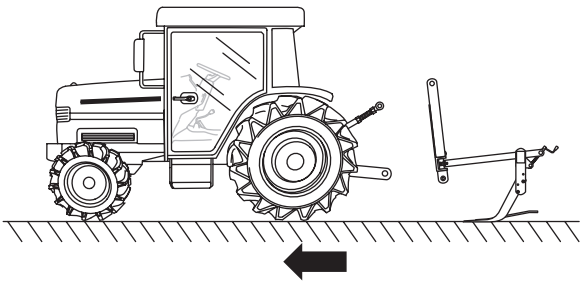
トラクタの右ロワーリンクを、作業機の右側のロアーピンから取外します。

5

トラクタの左ロワーリンクを、作業機の左側のロアーピンから取外します。

6

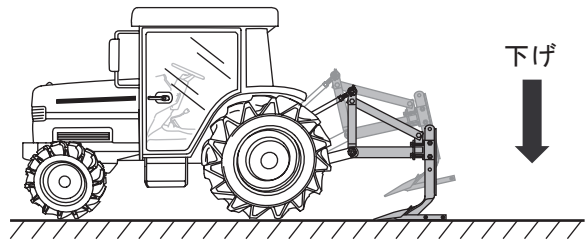
トラクタのエンジンをかけ、トラクタをゆっくり前進させます。



8.1.3 標準3点リンク直装 (SP-1400)

1

トラクタの作業機昇降レバー（油圧レバー）を下げて、作業機をゆっくり地面まで下げます。

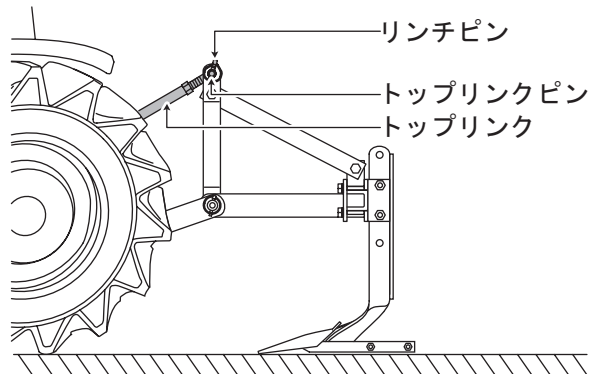


2

トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止します。また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯します。

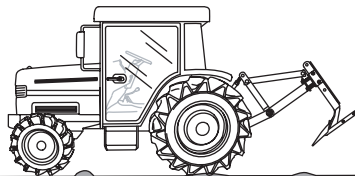
3

リンチピンを抜いてトップリンクピンを取外し、トラクタのトップリンクを作業機から取外します。



注 記

- ・ 外れないときは、トップリンクの長さを調節してください。



4

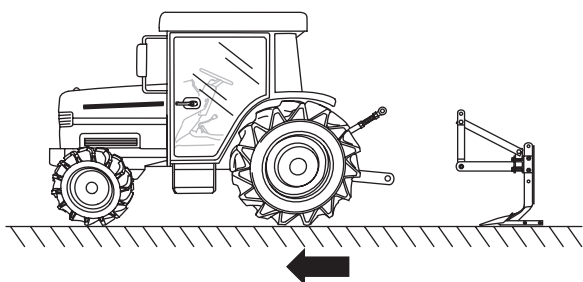
トラクタの右ローリンクを、作業機の右側のリンクピンから取外します。

5

トラクタの左ローリンクを、作業機の左側のリンクピンから取外します。

6

トラクタのエンジンをかけ、トラクタをゆっくり前進させます。



9 保守・点検

長くお使いいただくためには、日常の保守管理が大切です。

お客様でできない作業項目は、お買い上げいただいた購入先にご相談ください。

警告

- 交通の邪魔にならない場所で行ってください。
 - 作業機が動いたり、倒れたりしない平らで固い場所で行ってください。
 - トラクタの車輪には車止めをしてください。
 - トラクタの駐車ブレーキをかけ、PTO 変速レバーを「中立」の位置にし、エンジンを停止してください。
- また、エンジンを始動できないようにキーを抜き、作業者が携帯してください。
- 作業機が下がるのを防止するため、トラクタの油圧ストップバルブを完全に閉めてロックし、さらに作業機の下へ台を入れてください。
 - 変形、破損等の異常を見つけたら、速やかに修理をしてください。

【守らないと】死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

注意

点検・整備に必要な工具類は、適正な管理をし、目的に合ったものを正しく使用してください。

【守らないと】整備不良で事故を引き起こすおそれがあります。

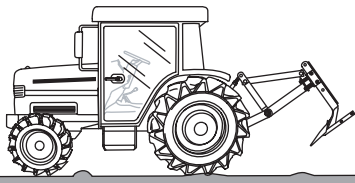
厚手の手袋を着用し、手を保護してください。

【守らないと】傷害事故につながるおそれがあります。

環境

- ・ 消耗品等を捨てるときは、お買い上げいただいた購入先にご相談ください。

むやみに捨てるとう環境汚染になります。



9.1 ボルト・ナットのゆるみ点検

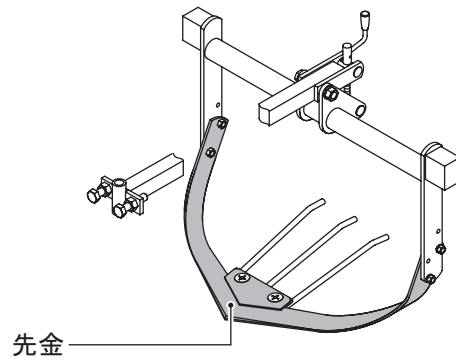
使用時ごとに各部のボルト・ナットを増締めしてください。
 新品の場合は、使用開始から2時間後に必ず増締めをしてください。

9.2 消耗部品の交換

9.2.1 SP-651

◆先金

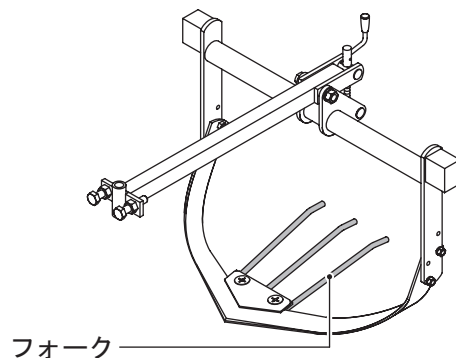
すり減りを確認したら、新しいものと交換してください。



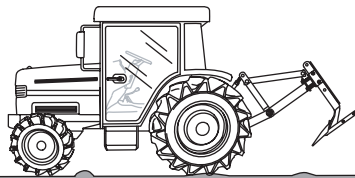
品名	品番
先金	4054 102000

◆フォーク

すり減りを確認したら、新しいものと交換してください。



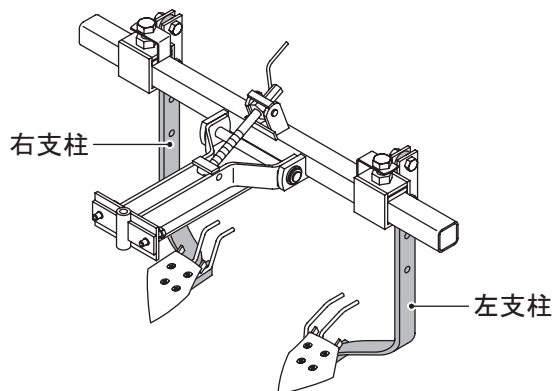
品名	品番
フォーク	4054 106000



9.2.2 SP-1000

◆支柱

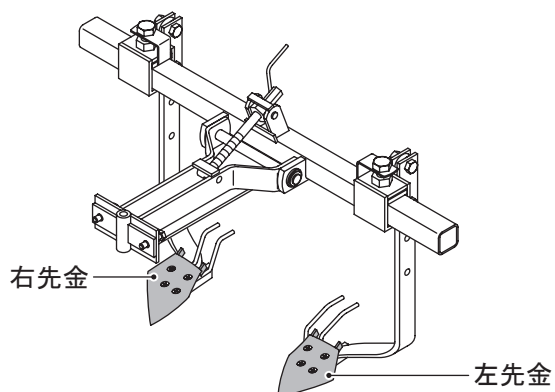
スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。



品名	品番
左支柱	4052 324026
右支柱	4052 324025

◆先金

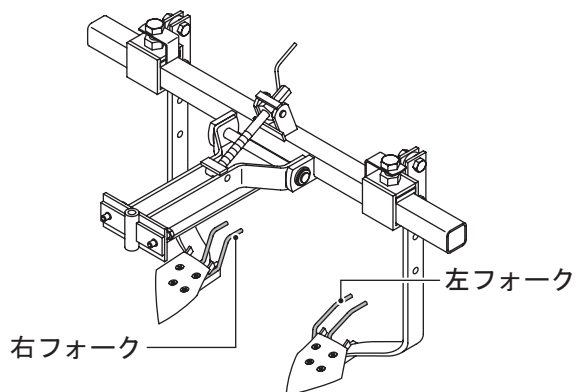
スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。



品名	品番
左先金	4051 231012
右先金	4051 231008

◆フォーク

スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。

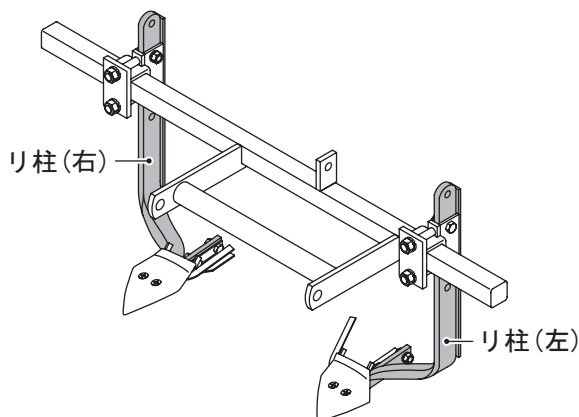


品名	品番
左フォーク	4051 231018
右フォーク	4051 231014

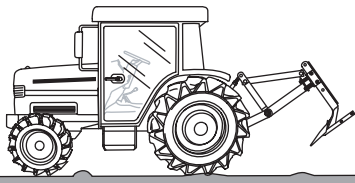
9.2.3 SP-1400

◆リ柱

スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。

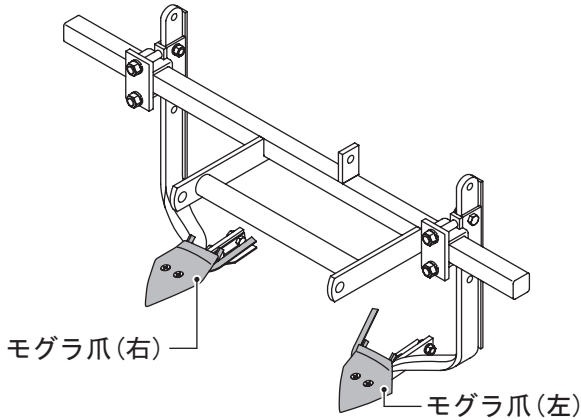


品名	品番
リ柱(左)	4063 806007
リ柱(右)	4063 806006



◆モグラ爪

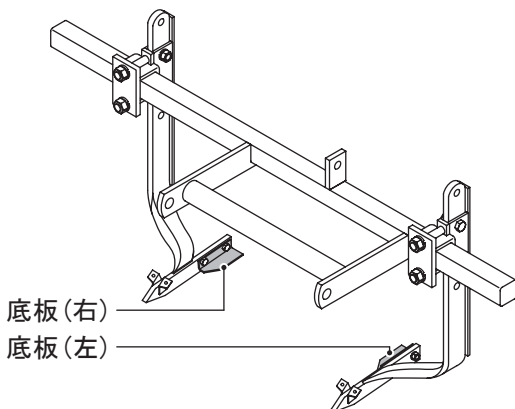
スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。



品名	品番
モグラ爪 (左)	4063 806009
モグラ爪 (右)	4063 806008

◆底板

スリ減りを確認したら、新しいものと交換してください。



品名	品番
底板 (左)	4063 806011
底板 (右)	4063 806010

10 格納について

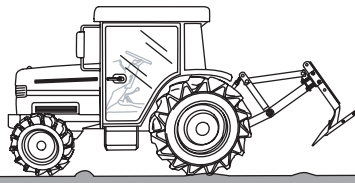
⚠ 注意

- 雨や風があたりず、平らで固い場所を選んでください。
- 作業姿勢での格納は、バランスが悪く転倒のおそれがあります。必ず作業機を倒した状態で保管してください。

【守らないと】作業機の転倒等により、傷害事故や作業機の損傷につながります。

格納する前に下記の作業を行ってください。

- (1) 作業機はきれいに清掃してください。
- (2) 格納はできる限り屋内にしてください。



11 保証とサービスについて

11.1 保証について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられるときに必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管してください。

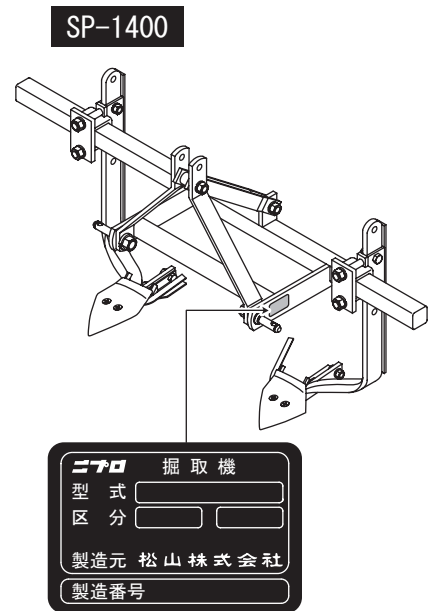
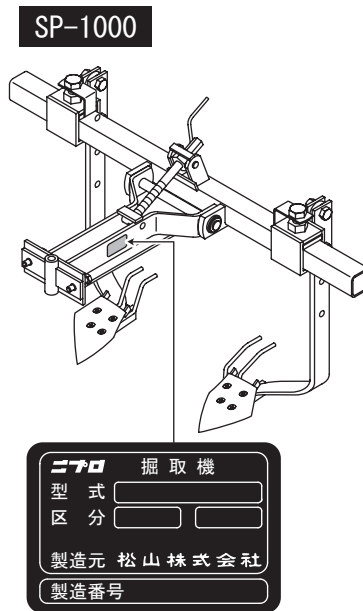
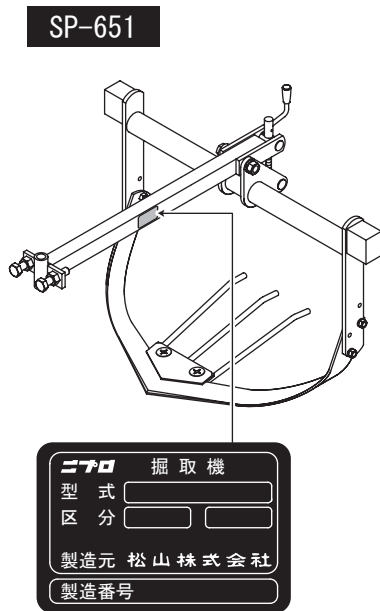
11.2 アフターサービスについて

11.2.1 修理を依頼される時

作業機の調子が悪いときは、この取扱説明書を参照し、点検してください。
点検・整備しても不具合がある場合は、お買い上げいただいた購入先へ、下記内容をご連絡ください。

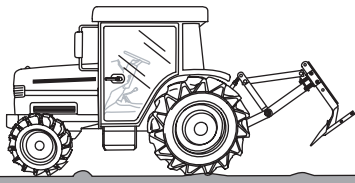
<ul style="list-style-type: none"> 型式と製造番号 	ネームプレートに記載（「11.2.2 ネームプレートの位置」を参照）
<ul style="list-style-type: none"> ご使用状況 	<ul style="list-style-type: none"> 水田ですか？ 畑ですか？ ほ場の条件は石が多いですか？ 強粘土ですか？ トラクタの型式は？ ・トラクタの速度は？
<ul style="list-style-type: none"> どのくらい使用されましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 約□□アール または□□時間
<ul style="list-style-type: none"> 不具合が発生したときの状況をなるべく、くわしく教えてください。 	

11.2.2 ネームプレートの位置



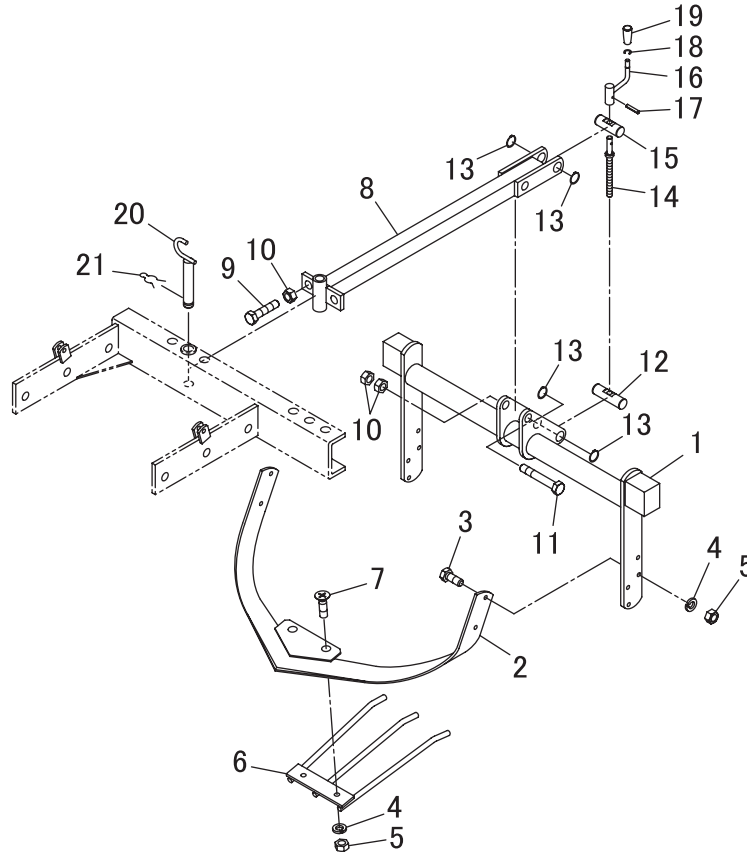
11.3 補修部品と供給年限について

- 補修部品は、純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、作業機の不調や性能に影響する場合があります。
- この作業機の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期等ご相談させていただく場合があります。



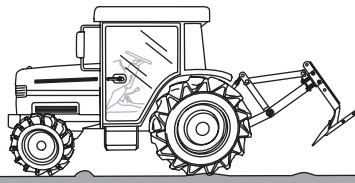
12 部品表

1. SP-651

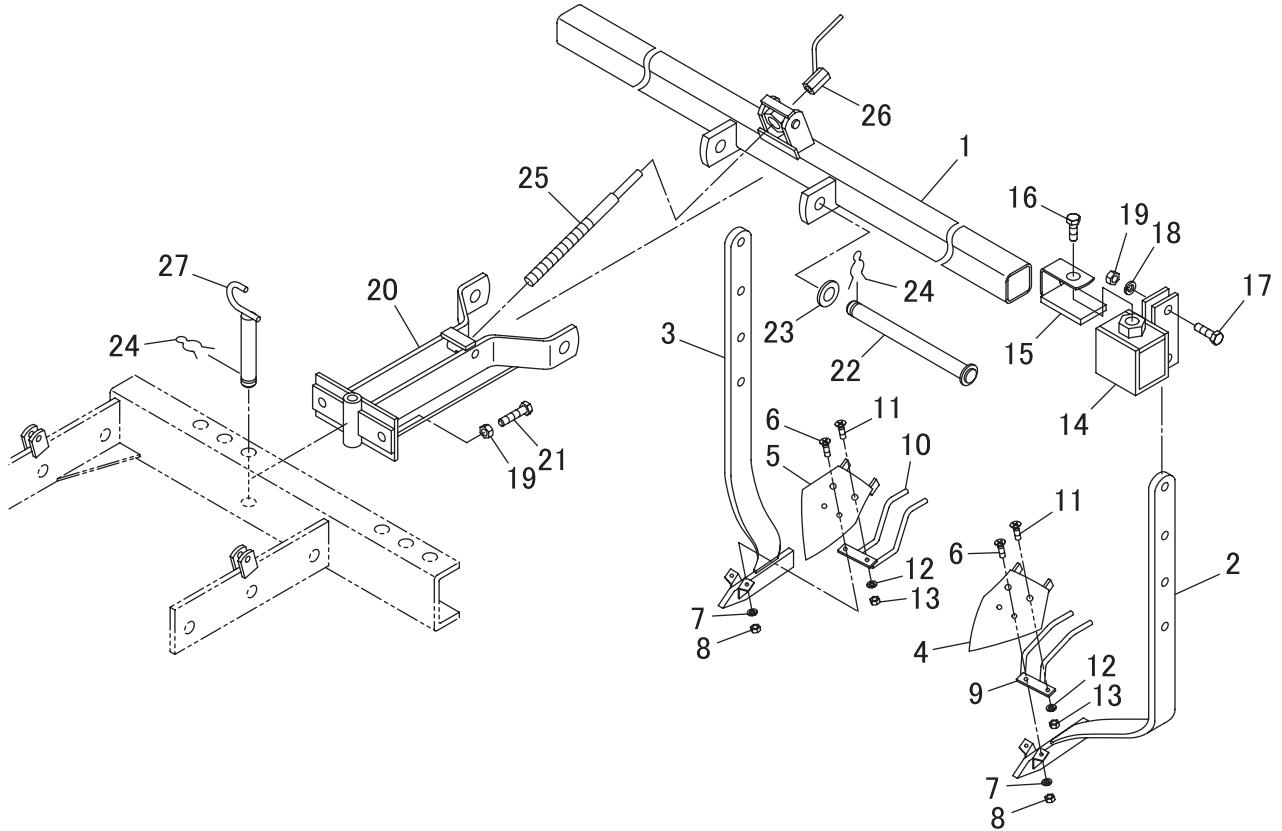


見出番号	部品番号	部品名称	数量			規格	備考
			SP-651	SP-1000	SP-1400		
1	4054 103000	連結棒	1				
2	4054 102000	先金	1				
3	0310 610030	ボルト	4			M10X30 11T	
4	0931 010000	ばね座金	6			M10	
5	0410 010001	ナット	6			M10	
6	4054 106000	フォーク	1				
7	0340 010025	さらボルト	2			M10X25	
8	4054 101000	ヒッチ棒	1				
9	0310 016060	ボルト	2			M16X60	
10	0410 016001	ナット	4			M16	
11	0310 016130	ボルト	1			M16X130	
12	4054 107000	タンブラA	1				
13	0800 100028	C形止め輪	4			S-28	
14	4054 104000	深浅オネジ	1				
15	4054 108000	タンブラB	1				
16	4054 109000	ハンドル	1				
17	0831 106025	ロールピン	1			6X25	
18	4054 111000	C型クリップ	1				
19	4054 110000	グリップ	1				
20	4051 231035	ヒッチピン	1				
21	4051 231044	ダルマピン	1				

PL-1493

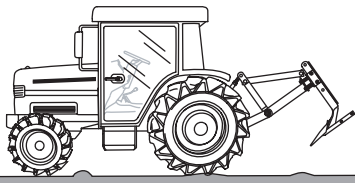


2. SP-1000



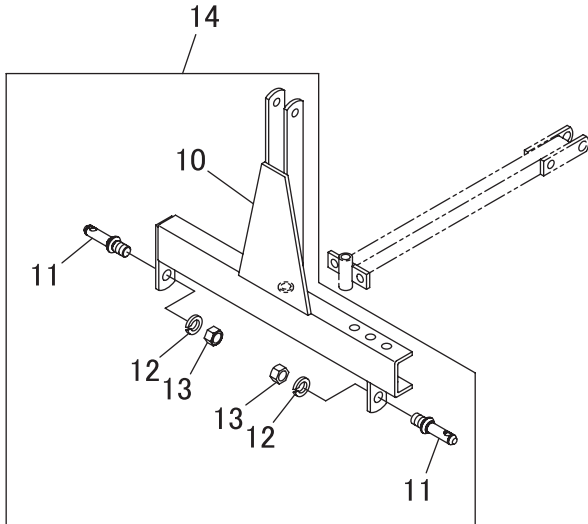
見出番号	部品番号	部品名称	数量			規格	備考
			SP-651	SP-1000	SP-1400		
1	4052 324008	バー		1			
2	4052 324026	左支柱		1			
3	4052 324025	右支柱		1			
4	4051 231012	左先金		1			
5	4051 231008	右先金		1			
6	0302 006016	さら小ネジ (+)		4		M6X16	
7	0931 006000	ばね座金		4		M6	
8	0410 006001	ナット		4		M6	
9	4051 231018	左フォーク		1			
10	4051 231014	右フォーク		1			
11	0302 008020	さら小ネジ (+)		4		M8X20	
12	0931 008000	ばね座金		4		M8	
13	0420 008001	小形ナット		4		M8	
14	4052 324032	取付具		2			
15	4052 324037	座板 90		2			
16	0310 016035	ボルト		2		M16X35	
17	0310 016045	ボルト		4		M16X45	
18	0931 016000	ばね座金		4		M16	
19	0410 016001	ナット		6		M16	
20	4052 324001	ヒッチ		1			
21	0310 016065	ボルト		2		M16X65	
22	4052 324019	ピン		1			
23	0930 016000	平座金		1		M16	
24	4051 231044	ダルマピン		2			
25	4052 324015	調節ネジ		1			
26	4052 324016	ハンドル		1			
27	4051 231035	ヒッチピン		1			

PL-1493

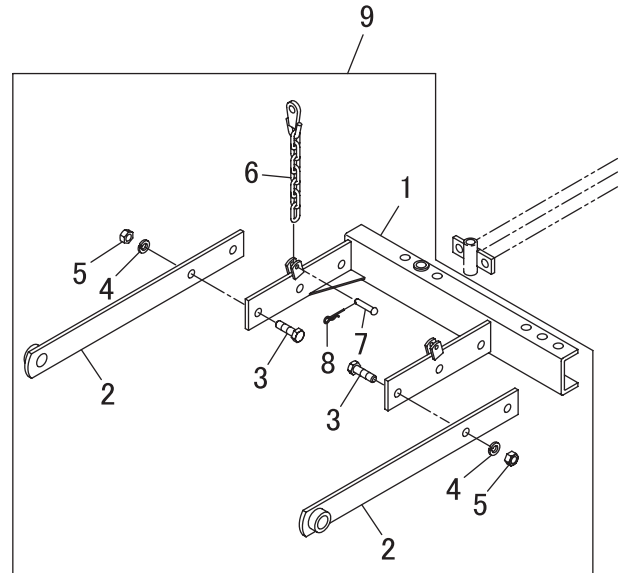


3. 2P,3P取付部 SP-651,1000

3P

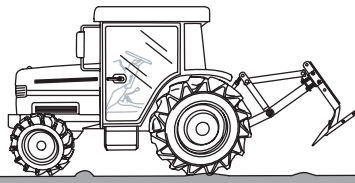


2P

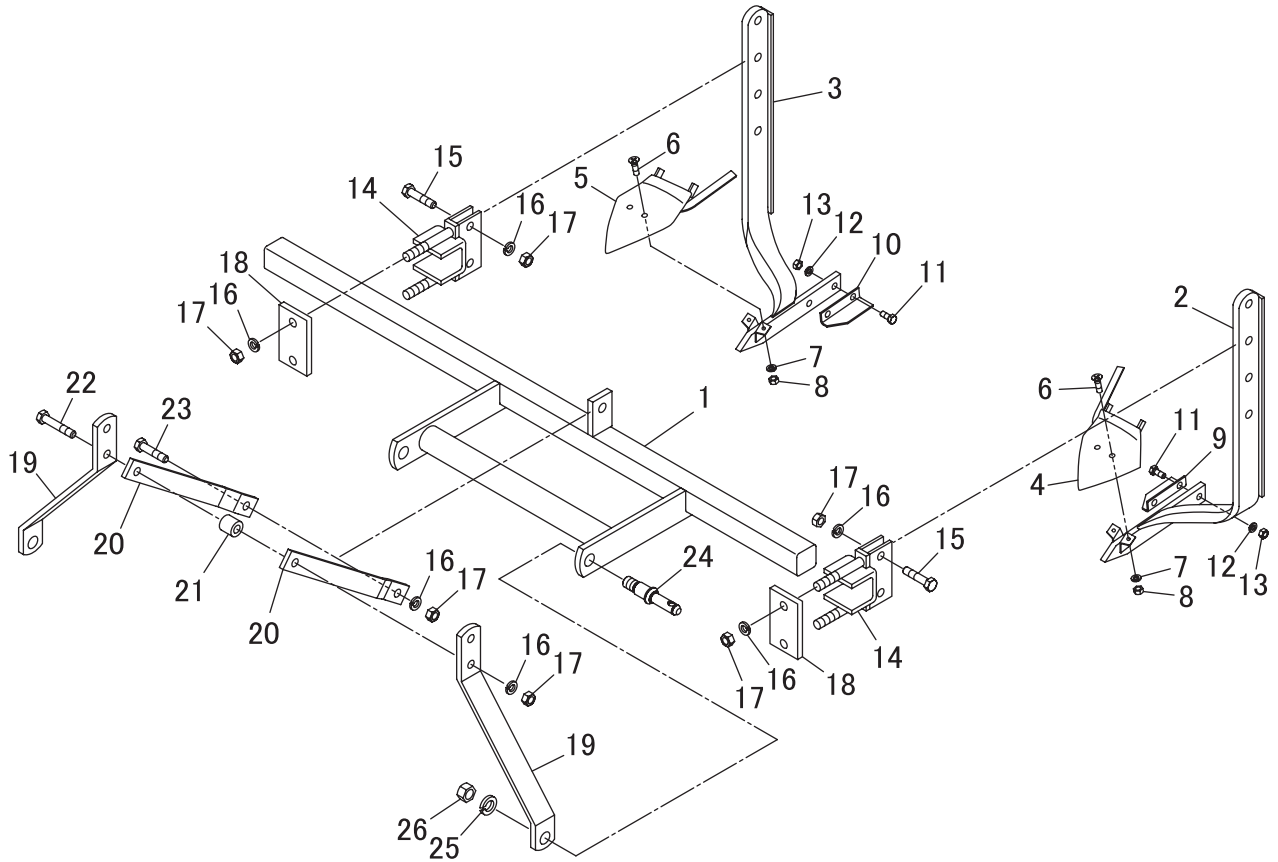


見出番号	部品番号	部品名称	数量			規格	備考
			SP-651	SP-1000	SP-1400		
1	5998 301000	ヒッチボックス (A)	1	1			
2	4029 305000	取付アーム	2	2			
3	0310 012050	ボルト	4	4		M12X50	
4	0931 012000	ばね座金	4	4		M12	
5	0410 012001	ナット	4	4		M12	
6	4029 306000	リフトチェーン	2	2			
7	1109 320000	止ピン	2	2			
8	0832 200010	Rピン	2	2		A-10	
9	5995 901000	AフレームASSY	1	1			
10	5996 101000	Bフレーム	1	1			
11	2016 303000	ローアービン	2	2			
12	0931 020000	ばね座金	2	2		M20	
13	0421 020001	小形ナット	2	2		M20X1.5	
14	5996 901000	BフレームASSY	1	1			

PL-1493

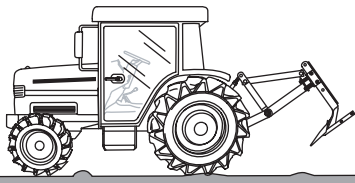


4. SP-1400

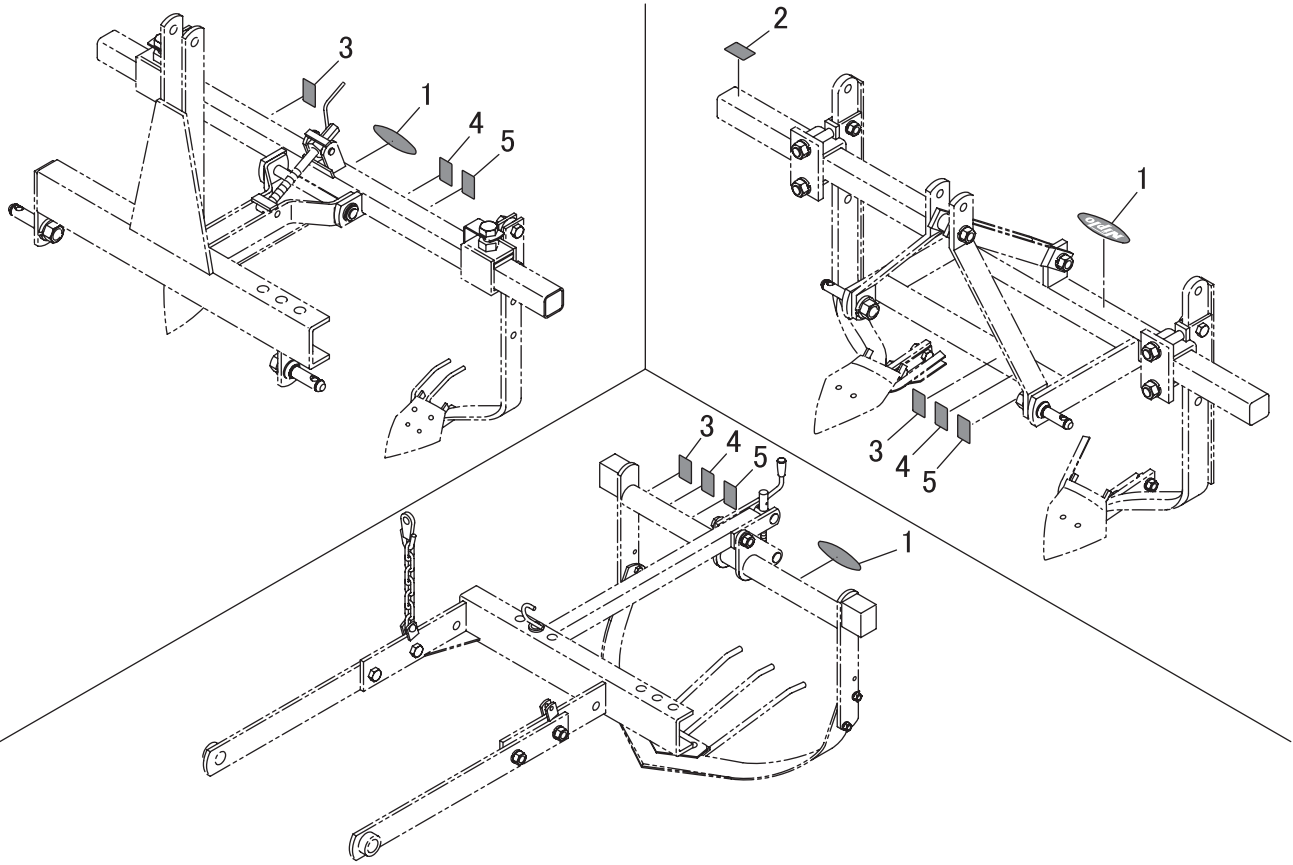


見出番号	部品番号	部品名称	数量			規格	備考
			SP-651	SP-1000	SP-1400		
1	4063 806001	横杆			1		
2	4063 806007	リ柱 (左)			1		
3	4063 806006	リ柱 (右)			1		
4	4063 806009	モグラ爪 (左)			1		
5	4063 806008	モグラ爪 (右)			1		
6	0302 006016	さら小ネジ (+)			4	M6X16	
7	0931 006000	ばね座金			4	M6	
8	0410 006001	ナット			4	M6	
9	4063 806011	底板 (左)			1		
10	4063 806010	底板 (右)			1		
11	0310 010030	ボルト			4	M10X30	
12	0931 010000	ばね座金			4	M10	
13	0410 010001	ナット			4	M10	
14	4063 806012	取付具			2		
15	0310 016055	ボルト			4	M16X55	
16	0931 016000	ばね座金			10	M16	
17	0410 016001	ナット			10	M16	
18	4063 806013	押え金			2		
19	4063 806002	マスト			2		
20	4063 806004	マスト支え杆			2		
21	4063 806005	カラー			1		
22	0310 016090	ボルト			1	M16X90	
23	0310 016060	ボルト			1	M16X60	
24	4063 806003	リンクピン			2		
25	0931 022000	ばね座金			2	M22	
26	0410 022001	ナット			2	M22	

PL-1493

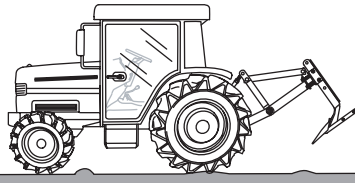


5. ステッカー SP-651,1000,1400



見出番号	部品番号	部品名称	数量			規格	備考
			SP-651	SP-1000	SP-1400		
1	1109 334000	ニプロ貼マーク	1	1	1		
2	8750 337000	警告ラベルC 1 0			1		
3	8750 341000	警告ラベルC 1 2	1	1	1		
4	8750 317000	警告ラベルW 2	1	1	1		
5	8750 326000	警告ラベルW 3	1	1	1		

PL-1493



13 用語と解説

アタッチメント

作業機に後付けする製品

3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持を行うリンク

ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

ターンバックル

ねじ機構により胴部を回転させて両端の長さを調整できる装置

チェックチェーン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェーン

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

ドラフトコントロール

作業機に加わる土壌抵抗を利用することにより、一定以上の抵抗になると自動的に油圧を作動させ、車輪のスリップを防ぎ、安定したけん引作業をすることができる装置

ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

揚力

トラクタが作業機を上昇させるための力

リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためローリンクと連結しているアーム

ローリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊り下げているリンクで左右1本ずつある

<http://www.niplo.co.jp>

Niplo 松山株式会社

- 本社 〒386-0497
長野県上田市塩川5155
Tel.(0268)42-7500
Fax.(0268)42-7556
- 物流センター 〒386-0497
長野県上田市塩川2949
Tel.(0268)36-4111
Fax.(0268)36-3335
- 北海道営業所 〒068-0111
北海道岩見沢市栗沢町由良194-5
Tel.(0126)45-4000
Fax.(0126)45-4516
- 旭川出張所 〒079-8451
北海道旭川市永山北1条8丁目32
Tel.(0166)46-2505
Fax.(0166)46-2501
- 帯広出張所 〒082-0004
北海道河西郡芽室町東芽室北1線18番10
Tel.(0155)62-5370
Fax.(0155)62-5373
- 東北営業所 〒989-6228
宮城県大崎市古川清水3丁目石田24番11
Tel.(0229)26-5651
Fax.(0229)26-5655
- 関東営業所 〒329-4411
栃木県栃木市大平町横堀みずほ5-3
Tel.(0282)45-1226
Fax.(0282)44-0050
- 長野営業所 〒386-0497
長野県上田市塩川2949
Tel.(0268)35-0323
Fax.(0268)36-4787
- 岡山営業所 〒708-1104
岡山県津山市綾部1764-2
Tel.(0868)29-1180
Fax.(0868)29-1325
- 九州営業所 〒869-0416
熊本県宇土市松山町1134-10
Tel.(0964)24-5777
Fax.(0964)22-6775
- 南九州出張所 〒885-0074
宮崎県都城市甲斐元町3389-1
Tel.(0986)24-6412
Fax.(0986)25-7044

